



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

【 2020年度 年次報告書 】

《2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画》

2021年4月1日

(更新：2021年4月1日 v10.0)





目次

1	当団体について	3
1.1	設立趣旨書	4
1.2	活動基本	5
1.3	活動方針	6
1.4	活動実績	8
1.5	組織概要	29
1.6	会員制度	29
1.7	団体登録先・情報登録先	30
1.8	当団体運営	31
2	2020年度活動実績（令和2年度）	33
2.1	福島の課題	33
2.2	活動方針	33
2.3	活動目的	34
2.4	全体事業実績（概要）	35
2.5	事業詳細	37
2.6	2020年度の役員・スタッフ	49
2.7	2020年度総括（令和2年）	51
3	2021年度活動計画（令和3年度）	53
3.1	福島の課題	53
3.2	活動方針	53
3.3	活動目的	54
3.4	全体事業計画（概要）	55
3.5	事業詳細	57
3.6	2021年度の役員・スタッフ	65
3.7	最後に	67
4	補足資料	68
4.1	福島の避難指示解除の経過	68
4.2	活動様子（年度毎、事業毎の記録・写真）	69
4.3	2021年度の活動日程（計画、一部抜粋、状況により変更あり）	94



1.当団体について



1 当団体について

当団体は、ボランティアとして 2011 年 5 月より岩手県に 3 分の 1、宮城県に 3 分の 1、そして福島には個人で 3 分の 1 として福島応援の活動を進め、2011 年 10 月より福島応援隊として有志の応援をいただき活動をさらに一歩前に進め、2012 年 1 月 11 日に“kfop”を設立しました。

活動に当たっては、設立前の約半年間、福島にボランティアバスを出すべく、事前準備を進めましたが、福島へバスをなかなか出していただけでない現実、ボランティアバスを出すことへの理解がなかなか得られない現実、活動に理解がなかなか得られない現実がありました。そんな環境の中、バスは横浜の『シティアkses株式会社』様に出していただきました。活動先はスタッフが現地へ赴き、受け入れ調整をさせていただきました。

設立当初の 2012 年度の主な活動としては

(1) 現地活動

福島市の福島市社会福祉協議会募集のボランティア（渡利地区、大波地区）。
福島市の任意団体の復興応援活動（借上げ住宅・近隣にお住まいの皆様、応急仮設住宅に）。
南相馬市の鹿島区社会福祉協議会募集による小高区での屋外活動（山側、海側、街中）。
南会津での大熊町の子どもたちを対象とするイベント支援活動。
最終の福島 12 便は、福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」で活動。

(2) 県内活動（神奈川県内での活動）

神奈川県内に避難を余儀なくされている皆様へのお手伝い、避難されている方々の気持ちは私たちには十分には分からないかも知れませんが、少しでも近づければ、との気持ちで。
かながわ東日本大震災県内避難者支援ネットワークに協力し、弁護士よろず相談会。
同、町別（浪江町、双葉町、富岡町、楡葉町、大熊町）交流会。
同、また共催し「ふるさとコミュニティ in かながわ」の県内全体の交流会。
など、活動および協力ができました。

(3) 当団体の応援者は

2012 年 1 月末時点で 48 名、2013 年 3 月末に置いては 167 名（内会員は 119 名）と多くの方に応援をいただくことができました。2021 年 3 月 31 日のメンバーは 289 名。

2011 年度から、現在までの活動履歴は当団体 HP に掲載しています。

2021 年度も継続し、福島の応援を続けていく。

ご参加いただきました皆様、応援をいただきました皆様、寄付をいただきました皆様、支援金をいただきました皆様、そして私たちを受け入れてくださいました現地の皆様、交流会にお越しいただきました避難されている皆様（県外からもお越しいただきました）、同じく交流会にご協力をいただきました行政の皆様に感謝いたします。

かながわ「福島応援」プロジェクト
代表 渡辺孝彦



1.1 設立趣旨書

1.1.1 趣旨

2011年3月11日に地震と津波による被害を受けた東京電力第一原子力発電所は、全電源を喪失して原子炉の冷却ができなくなり、大量の放射性物質放出を伴う重大な原子力事故に発展した。これにより浜通り地域を中心に、周辺地帯の住民は長期の避難と、福島県の住民へのいわれなき差別、いじめ、風評被害、観光の打撃と、今も大きな苦難を強いられています。

かながわの「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」では岩手県・宮城県に向けて活発な支援が続けられていますが、福島県への支援は今なお実現していません。

また、福島県は今もなお復旧に至らず、復興ままならない状況下にあります。

その中で、福島県に住んでいる方々、福島県から避難される方それぞれの方へ応援をしていきたい。神奈川県から「福島を応援する」その主旨で、かながわ「福島応援」プロジェクトを設立するものです。

1.1.2 活動

- (1) 直接活動（家屋内外の片付け、街中掃除、仮設訪問、子どもたち支援等をしていきたい）
- (2) 県内支援（神奈川県内、関東圏に避難されている方へのお手伝い）※1
- (3) 情報発信（福島県での活動、観光情報、温泉情報、特産物情報、など発信したい）
- (4) 災害復旧支援（地域を特定せず、台風や豪雨等の自然災害による甚大被害が発生したとき、現地の要請に基づきその復旧支援等を行う。）※2

を行い、今までと同じように笑顔があふれ、子どもたちも楽しく・のびのびと遊んでいる福島県であることを願い活動を展開し、また、神奈川県から応援の輪を広げるために、多くの方の参加者を募り活動していきたい。

1：(2)の県内支援活動は設立当初はなく、私たちは現地福島に直接行きお手伝いする、神奈川県内に避難されている方のことは神奈川県に住む方で応援してほしい。その思いでありましたが、県内での応援もまだまだ十分ではなく、必要、と感じ2012年度に活動を追加したものです。

※2：(4)の災害復旧支援は平成27年台風第18号を受け2016年度に明確化した。

1.1.3 経緯

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| 2011年10月11日 | ボラステ※3のボランティア活動と平行して活動を開始（発起） |
| 2011年10月29日 | ボラステのボラバスチームメンバー参加により福島市ボランティア参加 |
| 2011年12月28日 | スタッフ含めた参加者の募集、本格設立へ行動（36人が賛同） |
| 2012年1月9日 | 初会合（賛同出席者16名） |
| 2012年1月11日 | 設立日とする。 |

※3：ボラステとは「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」のこと。

2011.10.11

かながわ「福島応援」プロジェクト
設立代表 渡辺 孝彦

1.2 活動基本

かながわから福島を応援します。

非営利の任意ボランティア団体として、現地活動（福島県内での活動）、県内活動（神奈川県内を含む関東圏での活動）、情報発信（広く一般の方に）の3つを活動の基本、柱として、できることを少しずつでも進めます。

1.2.1 現地活動

福島県から避難される方、避難されている方、福島県に住む方へできることのお手伝いを**現地**で**直接**行う。他団体へ参加、連携を含めて福島復興、元気につながる活動を行う。

- (1) 県民が生活される場の街中掃除等ボランティア活動
- (2) 福島県内のご自宅の庭の手入れ・家屋内の片付けなど
- (3) 仮設住宅、借上げ住宅、新たな住居に住まわれている方へのボランティア活動など
- (4) 福島の地域復興の応援。

1.2.2 県内活動

神奈川県および近郊に避難されている方の交流会、お手伝い。および被災地自治体、団体・神奈川県内の自治体、団体とのつなぎ手として支える**活動**を行う。

1.2.3 情報発信

福島県でのボランティア活動、観光情報、温泉情報、特産品情報など「現地活動」「視察研修」「講演会」「美味しいふくしま伝え隊」などを通して**福島の元気に、笑顔につながる情報を発信**する。

1.2.4 災害復旧支援

地域を固定せず、台風や豪雨等の自然災害による甚大被害が発生した際には、現地の要請に基づきその**復旧支援等**を行う。

そして、今までと同じように笑顔があふれ、子どもたちも楽しく・のびのびと遊んでいる福島であることを願います。

さらに、神奈川からつながりの輪が大きくなり、多くの方に福島を訪れていただけることを願います。

1.3 活動方針

1.3.1 はじめに

「福島応援」の形も少しずつ変化してきています。避難指示の解除が段階的に進む中で、帰還された方、帰還を迷われている方、避難先で生活再建を目指されている方、新たに移住した方、それぞれの立場と気持ちを尊重しながら、ふるさととの精神的なつながりの維持、コミュニティづくり、交流などが必要とされています。福島に住む方々の心情も、復旧から復旧・復興へ向けて、支援する側・される側ではなく、お互い対等な立場で共に動こうという方向性に変化してきています。私たちも、現地の状況を確認しながら、一緒に活動できる関係を築いていきたいと考えています。

まだまだ笑えないことは多くあります。

- ・ 避難を余儀なくされた方は、まだまだ先が見通せない中で前に進んでいます。
- ・ 福島に戻られた方や、新たに移住した方も、震災以前とは違う環境でありながら、前向きな気持ちで頑張っています。
- ・ 福島に住む方は、支援ではなく「ぜひ遊びに来て、楽しんで」と歓迎してくれます。

私達は「福島応援」を掲げて活動する団体です。

- ・ 「福島応援」の名は、上から目線と感じさせてしまう場合もありますが、活動を始めたときからの想いがある名前です。
- ・ 復旧から復旧・復興へ向けて、支援する側・される側ではなく、お互い対等な立場で共に動こうという精神を活動方針として、これからも進みます。
- ・ 楽しい企画も考えていきます。
- ・ 皆さんもそんな方針を理解して一緒に進んでいただけることを願います。

(追記：2020.4.1)

1.3.2 長期的方針

私たちは、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故によりいまだ大きな苦難の中にある福島を長期にわたって応援し続けるために、持続可能な事業計画と予算計画を立てて団体としての活動を維持します。

いずれの活動についても、当事者の方々が必要とする支援や環境は時間とともに変化します。特に相双地域では避難区域の解除が進み、さまざまな課題が発生してくると見られます。そうした変化を理解し、柔軟に対応できる体制、予算的な余裕、他団体とのつながりも必要です。その一貫として、現地の状況を把握するための情報収集、現地の行政や民間団体とのつながりの維持を目的とした現地訪問や会議への参加も積極的に行います。

同時に、神奈川をベースとしながら長期的に現地に関わっていける連携先も模索していきます。

(1) 当団体は、黙々と活動を行う

何が無くても福島に行く、その心づもりが基本となります。



福島の復旧・復興を願う。

福島の観光・温泉・果物・農産物などの応援をする。

福島の子どもたち、避難を余儀なくされている皆様に少しでも応援になることをする（重きを置くこと）。

(2) 福島の活動においては、ご家族の理解も得て行う

(3) また、スタッフ、参加者ともに無理はしない

できることを

できるときに

できる範囲で

(4) 活動のすべて

- ・ kfop 日程表、プロフィール、活動内容、設立趣旨、団体規約、事業計画兼活動報告、活動履歴、会員募集、ご寄付、会計報告
- ・ 講演会・集い
- ・ ボランティア募集情報
- ・ 現地活動の様子
- ・ 神奈川県内での活動
- ・ 災害復旧支援
- ・ 更新情報

など、長く福島の応援を続けることができるために、すべての情報を、当団体の HP で公開しています。



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

1.4 活動実績

1.4.1 現地活動（他事業の活動も含む）

年度	活動先	実施回数	参加者数
2011	小名浜復興センターボランティア	毎週末	(1名)
	いわき市復興センターボランティア	毎週末	(1名)
2011	福島市大波地区ボランティア	6回	29名
	小計	6回	29名
2012	福島市渡利地区ボランティアバス	3回	57名
	福島市復興応援ボランティアバス	6回	155名
	南相馬市小高区ボランティアバス	2回	67名
	会津若松市（大熊町）ボランティア	1回	6名
	福島市「花に願いを」ボランティアバス	1回	22名
	小計	13回	307名
2013	福島市渡利「花見山公園」花見バス	1回	23名
	福島市「花に願いを」ボランティアバス（他3回中止）	8回	136名
	静岡県西伊豆町水害ボランティアバス（他1回中止）	1回	21名
	南相馬市小高区ボランティアバス	5回	96名
	小計	15回	276名
2014	福島市渡利「花見山公園」花見バス	1回	17名
	福島市「花に願いを」ボランティアバス	2回	4名
	南相馬市小高区ボランティアバス	10回	159名
	福島県内応急仮設住宅等訪問	4回	5名
	小計	17回	185名
2015	視察研修便（富岡町、大熊町）	2回	37名
	南相馬市小高区ボランティアバス	10回	160名
	川内村訪問・支援活動	1回	6名
	現地自治体等訪問（現地訪問）除く講演依頼等	1回	2名
	双葉郡未来会議	1回	2名
	小計	15回	207名
2016	南相馬市小高区ボランティアバス	8回	129名
	視察研修便（双葉町、浪江町）	2回	41名
	その他現地活動（含む有志野馬追）※有志活動	4回	13名
	災害復旧支援（発生時）	0回	0名
	現地自治体等訪問（維持管理）除く講演依頼等	1回	2名
	小計	15回	185名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

年度	活動先	実施回数	参加者数
2017	南相馬市小高区ボランティアバス（バス便）	5回	84名
	南相馬市小高区ボランティア（広域便）	4回	36名
	川内村ボランティア（広域便）	2回	8名
	葛尾村ボランティア（広域便）	1回	5名
	浪江町ボランティア（広域便）	2回	12名
	視察研修便（川内村・葛尾村）	1回	16名
	現地自治体等訪問（維持管理）	3回	6名
	その他現地活動（相双ボラ、野馬追等）※有志活動	2回	8名
小計	20回	175名	
2018	浪江町ボランティア（バス便・広域便）	8回	81名
	浪江町ボランティア（相双ボランティア）	1回	8名
	川内村ボランティア（広域便）	5回	29名
	葛尾村ボランティア（広域便）	2回	18名
	視察研修便（相馬市、新地町）	1回	10名
	その他（原発視察、野馬追、金水晶田植）※有志活動	3回	14名
	福島訪問（維持管理他）	3回	6名
小計	23回	166名	
2019	川内村ボランティア（広域便）（他2便中止）	5回	30名
	葛尾村ボランティア（広域便）	2回	14名
	飯舘村ボランティア（試行便）	1回	2名
	ビーチクリーンバス便（相馬市1回、新地町1回）	2回	22名
	視察研修便（富岡町、大熊町、檜葉町木戸川漁港）	1回	15名
	災害復旧支援（南相馬市・本宮市、いわき市）（他いわき市1便が雨天中止）	2回	10名
	福島訪問（維持管理他）	3回	5名
	小計	16回	98名
2020	・福島119便,120便,121便,123便,124便,126便,127便,128便,129便,131便,133便,134便の計12便の実施を新型コロナウイルスにより見合わせた。	0回	0名
	・11/14-25 視察研修130便の実施を同じく見合わせ	0回	0名
	・10/24-25 コットン畑交流会「風と遊ぶ農園はばたけ」	1回	1名
	・02/14 葛尾村祝言式（オンラインで参加）	1回	2名
	・福島訪問（感染防止を図り8/8,9/6-7,11/21-22実施）	3回	6名
小計	5回	9名	
全体合計（概数）		145回	1,637名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

1.4.2 連携活動

年度	活動先	実施回数	参加者数
2011	冬物衣料お渡し参加 (チームぼかぼか)	1回	1人
	福島キッズスタッフ参加 (福島キッズ)	3回	3人
	ふくしまボランティアフェスティバル (飯坂)	1回	6名
	Epc 福島に寄り添う会 (青山国際大学)	2回	1名
2012	Epc 福島に寄り添う会 (青山国際大学)	1回	1名
	大波城址ひまわり播種 (大波地区)	2回	5名
	福島キッズスタッフ参加 (福島キッズ)	3回	3名
	郡山市開成高校演劇	1回	1名
	福島シネマプロジェクト (飯坂温泉)	1回	2名
	神奈川建築安全協会 (活動報告会)	1回	3名
	第1回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	第2回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	町別交流懇談会・”しゃべりば”・弁護士相談会	22回	協力
2013	南相馬市応急仮設住宅	1回	3名
	ふるさとバス	2回	協力
	第3回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	第4回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	町別交流懇談会・お茶っこ会	12回	協力
	福島の食と地酒を楽しむ会 (日経ホール)	1回	7名
	分かち合いセミナー (飯田橋)	1回	3名
2014	第5回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	第6回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	町別交流懇談会・お茶っこ会等	20回	協力
2015	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会	各回	各人
	避難者交流の場「ふれ愛」	1回	2名
	町田餅つき	1回	2名
	双葉郡未来会議 (郡山)	1回	2名
2016	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会	各回	各人
	古殿町 (田植え・稲刈り・案山子作り)	1回	2名
	南相馬市交流懇談会 (南相馬市協力依頼)	2回	6名
	相馬野馬追	1回	6名
	ふるさと未来創造会議 (葛尾村)	1回	1名
	相模原市交流会 (ぶーたん)	1回	2名
	着付け・写真撮影 (相模女子短大)	1回	2名
	双葉八町村会議 (広野町)	1回	2名
	相双ボランティア	1回	2名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

年度	活動先	実施回数	参加者数
	そうま食べる通信 (横浜)	1回	2名
	JCN・や・ゆ・よ・Skype 会議	1回	1名
2017	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会	各回	各人
	端数倶楽部 MTG (県サポ)	1回	5名
	端数倶楽部運営委員会 (活動紹介)	1回	1名
	相馬野馬追	1回	6名
	バス運営セミナー (TVAC)	1回	1名
	大熊町ふるさと応援隊 (活動報告会協力)	1回	3名
	南相馬市社協感謝祭	1回	2名
2018	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会	各回	各人
	とみおかさんがねか? (町田)	1回	2名
	相馬野馬追	1回	5名
	原発視察参加	1回	8名
	葛尾村 結の米作り (下枝様)	2回	18名
	F's pocket 金水晶稲刈り	1回	2名
	葛尾村イベント (秋葉原)	1回	3名
	葛尾村の新米を食べる (下枝様)	1回	4名
	アズビル (株) 伊勢原工場 防災講話(講師紹介)	1回	1名
	H.I.S ふくしま感謝祭 (菅野様)	1回	2名
	ソトコト取材	1回	2名
	おだかぷらっとほーむ (わんこそば、廣畑様)	1回	2名
	上映「新地町の漁師たち」	1回	30名
2019	NPO 法人かながわ避難者と共にあゆむ会理事会・総会	1回	1名
	市民活動フェア企画部会	1回	1名
	市民活動フェア 2019	1回	14名
	台風 19 号連絡会	7回	13名
	台風 19 号バス運行連絡会	1回	0名
	内閣府主催防災会	1回	1名
2020	09/24 小高駅発「Way-Way」Vol.3 (オンライン)	1回	1名
	09/25 双葉 8 町村しゃべくりエイト(オンライン)	1回	2名
	09/26 JCN3.11 の今が分かる会議 1 (オンライン)	1回	2名
	12/19-23 でれすけ (葛尾村) 発売	1回	13名
	01/14 Tregion 伊達 (りょうぜん漬け他) (オンライン)	1回	1名
	01/24 相模原市社協公開講座	1回	2名
	02/16 日本のお酒の味 (オンライン)	1回	1名
	02/27 fukunomo2 月 (オンライン)	1回	1名
	03/06 山形県長井市利酒コンサート (オンライン)	1回	1名
	03/06 第 1 回大天狗イベント(オンライン)	1回	1名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
《2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画》

年度	活動先	実施回数	参加者数
	03/11 あうたび鈴木酒造・アルカディア (オンライン) ※コロナ禍においてオンラインイベント参加を促進した	1回	2名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

1.4.3 視察研修

年度	実施日	視察先	参加者	協力
2015	2015. 4.11-12 (1号)	富岡町	20人	富岡町 株式会社 報徳観光 白鳥温泉 春木屋旅館 特定非営利活動法人ザ・ピープル
	2015. 10.24-25 (2号)	大熊町	17人	大熊町、大川原復興拠点 特定非営利活動法人 大熊町ふるさと応援隊 好間工業団地第三応急仮設住宅自治会 Jヴィレッジ、福島給食センター 株式会社 報徳観光 白鳥温泉 春木屋旅館
2016	2016. 5.28-29 (3号)	双葉町	20人	双葉町 いわき・まごころ双葉会 田人おふくろの宿 シティアクセス株式会社
	2016. 10.22-23 (4号)	浪江町	21人	浪江町 社会福祉法人 浪江町社会福祉協議会 大堀相馬焼協同組合 陶芸の杜 おおぼり 二本松 工房 ヘルシーパルあだたら シティアクセス株式会社
2017	2017.10.28 (5号)	葛尾村	17人	一般社団法人 葛力創造舎 代表理事 下枝浩徳様 葛尾村 社会福祉法人 葛尾村社会福祉協議会 松本邦久様 (実証田圃場) 川島博幸様 (地元の方、葛尾村社協職員) カフェ嵐が丘 堀江安則様、みどり様 みどりの里 せせらぎ荘
	2017.10.29 (5号)	川内村	17人	川内村商工会 会長 井出茂 様 川内村 井出寿一 様 (元・川内村復興課長、現・福島発 電株式会社 浜通り事務所 所長) 秋元洋子 様 (元・川内へ迎える会 会長、現・川 内村婦人会 会長) かわうちワイン株式会社 社長 高木亨 様 いわなの郷 (コテージ、レストラン幻魚亭) Café Amazon (コドモエナジー株式会社 川内第 一工場長 川口司朗 様)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kpop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

年度	実施日	視察先	参加者	協力
2018	2019.02.17 (6号)	相馬市	10人	相馬市 企画制作部 企画政策課 課長補佐兼復興推進 係長 荒川誠 様 企画制作部 企画政策課 復興推進係 主査 星杏奈 様 千客万来館 管野昌孝 様(相馬観光復興御案内 処) 復興支援員 主任 井島順子 様 小幡 広宣 様(そうま食べる通信共同編集長/ 株式会社広栄土木 代表取締役) ホテルみなとや (女将 管野忍様) 一般社団法人そうま食べる通信 (常世田 隆様、 飯塚哲生様、黒田夏貴様)
	2019.02.18 (6号)	新地町	10人	新地町 復興推進課 専門官 加藤泉 様 復興推進課 専門官 吉本幸弘 様 復興推進課 コミュニティ支援員 川上照美 様
2019	2019.11.16 (7号)	富岡町	15人	平山 勉 様 (相双ボランティア代表、双葉郡未来会議事務 局、有限会社ホテルひさご代表平山"two"勉) ふたばいんふお 富岡ホテル 支配人 渡辺信一 様
	2019.11.17 (7号)	大熊町	15人	一般社団法人おおくままちづくり公社 事務局長 高田吉弘 様
	2019.11.17 (7号)	木戸川 漁協 (檜葉町)	15人	木戸川漁業協同組合 鮭ふ化場長 鈴木謙太郎 様
2020	2020.11.14 -15 (8号)	双葉町 他	0人	新型コロナウイルスにより実施を見合わせた。 双葉町長など事前訪問



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

1.4.4 講演会・勉強会（情報発信）

年度	実施日	講演内容
2015	2016. 1. 9 第1回 (講演会)	タイトル：南相馬の今 わたしたちにできること
		講師：小高区役所長 村田博 氏 / 課長補佐 根本剛実 氏 南相馬市災害復旧復興ボランティアセンター長 鈴木敦子 氏 進行：NPO 法人日本ファシリテーション協会 災害復興支援室 杉村郁雄 氏
		会場：かながわ県民センター2階ホール
		協力：南相馬市 社会福祉法人南相馬市社会福祉協議会、 神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会 (FAJ)
		広報協力：特定非営利活動法人かながわ避難者と共にあゆむ会 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク かながわ災害ボランティアバスチーム チームかながわ SUN
参加者数：第一部 114 人、第二部 60 人		
2016	2016. 6. 25 第2回 (講演会)	タイトル：避難指示解除後の檜葉町から語り部をお迎えして
		講師：高原カネ子さん (一般社団法人ならはみらい所属 ならはふるさと案内人)
		進行：東 尚子
		会場：鶴見公会堂 第1・第2会議室
		後援：檜葉町 協力：一般社団法人ならはみらい 特定非営利活動法人かながわ避難者と共にあゆむ会
		講演会参加者数：33 人 懇親会参加者数：16 人
2017. 1. 14 第3回 (講演会)	2017. 1. 14 第3回 (講演会)	タイトル：福島のを伝える講演会「地域ではぐくむ創造の芽吹き」
		講師：廣田拓也さん (二本松市、株式会社 GNS 常務取締役) 和田智行さん (南相馬市、小高ワーカーズベース代表) 下枝浩徳さん (葛尾村、葛力創造舎代表、双葉郡未来会議)
		ファシリテーター：鈴木まり子様 (特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 (FAJ))
会場：かながわ県民センター2F ホール 懇親会 (PRONTO プロント 横浜京急 EX イン店)		



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

年度	実施日	講演内容
		<p>共催：特定非営利活動法人かながわ避難者と共にあゆむ会 認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク かながわ災害ボランティアバスチーム</p> <p>協賛：azbil みつばち倶楽部 シティアクセス株式会社</p> <p>協力：かながわ県民活動サポートセンター (=神奈川県) かながわ東北ふるさと・つなぐ会 特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 (FAJ) 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会 一般社団法人葛力創造舎 株式会社小高ワーカーズベース 株式会社 GNS 特定非営利活動法人リーフ (Leaf)</p> <p>後援：福島県、二本松市、南相馬市、葛尾村、社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会、一般財団法人 神奈川県建築安全協会</p> <p>講演会参加者数：94 人 懇親会参加者数：42 人</p>
2017	2017. 6. 24 第 4 回 (勉強会)	タイトル： 「富岡町の現状と展望」
		講師：菅野利行さん (富岡町 参事兼郡山支所長)
進行：東 尚子		
会場：鶴見公会堂 第 3 会議室		
後援：富岡町		
		<p>勉強会参加者数：27 人 (うち kfop 会員 20 人、一般 7 人) 懇親会参加者数：22 人</p>
2018. 1. 20 第 5 回 (講演会)		タイトル：ふくしまの農と人をつながる講演会
		講師：第一部 菅野瑞穂さん (きぼうのたねカンパニー株式会社 代表取締役) 第二部 廣野晶彦さん (あぶくまカットフラワーグループ、花卉栽培農家) 菅野瑞穂さん (きぼうのたねカンパニー株式会社 代表取締役)
		進行：第一部 東 尚子 第二部 菅野瑞穂さん
		会場：八洲学園大学 7 階 7A 会議室
		<p>共催：かながわ「福島応援」プロジェクト 富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部</p>



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

年度	実施日	講演内容
		協力：特定非営利活動法人かながわ避難者と共にあゆむ会 認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク かながわ災害ボランティアバスチーム 合同会社ふくわらい 協賛：azbil みつばち倶楽部 後援：神奈川県 物販：きぼうのたねカンパニー株式会社 合同会社ふくわらい 講演会参加者数：53人（うち一般33人、登壇・会員20人） 懇親会参加者数：28人
2018	2018. 6. 23 第6回 (勉強会)	タイトル：「全町避難から避難指示解除後、現在に至るまでの浪江町の状況と町民の生活再建に向けた浪江町の取り組み」 講師：宮口勝美さん（浪江町副町長） 進行：東 尚子 会場：八洲学園大学 7階 7A 会議室 後援：浪江町 勉強会参加者数：27人（うち kfop 会員 23人、一般 4人） 懇親会参加者数：19人
		タイトル：「地域をもっと良くするために！アクションを起こして可能性の種をまく」 講師：第一部 小幡広宣さん （一般社団法人そうま食べる通信共同編集長、広栄土木株式会社 代表取締役） 第二部 小幡さんにここが聞きたい！ （全員、意見交換） 進行：第一部 東 尚子 第二部 東 尚子 会場：かながわ県民活動サポートセンター 3階 305 会議室 共催：かながわ「福島応援」プロジェクト 富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 協力：一般社団法人そうま食べる通信 認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク 特定非営利活動法人かながわ避難者と共にあゆむ会 かながわ東北ふるさと・つなぐ会 特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク かながわ災害ボランティアバスチーム 協賛：azbil みつばち倶楽部 後援：神奈川県、相馬市
2019. 1. 17		第7回 (講演会)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

年度	実施日	講演内容
		講演会参加者数：43人（うち一般21人、登壇・会員22人） 懇親会参加者数：17人
2019	2019.6.15 第8回 (勉強会)	タイトル：「福島とのさまざまな関わり方と今後の展望」
		講師：鈴木亮さん（一般社団法人ふたすけ 理事／ふたば地域サポートセンターふたすけ センター長） 進行：東 尚子
会場：八洲学園大学 9階 9A会議室		
勉強会参加者数：27人（うちkfop会員23人、一般4人） 懇親会参加者数：19人		
2020	2020.1.18 第9回 (講演会)	タイトル：「今あらためて福島から学び次世代に伝えるために」
		講師：一般社団法人AFW代表 吉川彰浩様（いわき市在住） 進行：東 尚子
		会場：鶴見公会堂 第1・第2会議室
		主催：かながわ「福島応援」プロジェクト 協力：一般社団法人AFW 特定非営利活動法人かながわ避難者と共にあゆむ会 かながわ東北ふるさと・つなぐ会 認定NPO法人かながわ311ネットワーク かながわ災害ボランティアバスチーム 協賛：azbil みつばち倶楽部
		講演会参加者数：46人（うち一般22人、登壇・会員24人） 懇親会参加者数：20人
2020	2020.5.30 第10回#1 (勉強会) オンライン	タイトル：「災害時における広域連携の必要性」
		講師：認定NPO法人かながわ311ネットワーク 代表理事 伊藤朋子さん 進行：東 尚子
会場：Zoom オンライン開催		
勉強会・懇親会参加者数：20人 ※コロナ禍であり、初めての試みとして事前に3回程お試しオンラインの場を設けZoom オンライン活用による開催とした。懇親会もオンラインで設けた。		
2020	2020.9.5 第10回#2 (勉強会) オンライン	タイトル：「コロナ禍の活動」
		(1)JVOADの災害対応ガイドラインおよび研修資料を元にした勉強会 (2)当団体作成「コロナ禍における活動マニュアル」の説明・勉強会 (3)現地活動先の様子について (4)質疑・意見交換（最後に30分程）
		講師：渡辺孝彦（kfop代表） 会場：Zoom オンライン開催



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
《2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画》

年度	実施日	講演内容
		勉強会・懇親会参加者数：14人
	2021. 2.6 第11回 (講演会)	タイトル：「地域とともにある酒造り」 ～ふるさと浪江町と山形県長井市の2地域で酒造りを続けることを決意した鈴木酒造店のチャレンジ～ 講師：株式会社鈴木酒造店 代表取締役・杜氏 鈴木大介さん 進行：東 尚子 会場：Zoom オンライン開催、横浜サテライト会場 中継：株式会社鈴木酒造店長井蔵、一般社団法人まちづくりなみえ、富士ゼロックス福島 端数倶楽部 主催：かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop) 協力：株式会社 鈴木酒造店、一般社団法人まちづくりなみえ、一般社団法人やまがたアルカディア観光局、富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部、富士ゼロックス福島 端数倶楽部、一般社団法人 東北支援会+プラス 協賛：azbil みつばち倶楽部 講演会参加者数：59人（オンライン51人、会場8人） 物販購入：22人 懇親会参加者数：12人



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

1.4.5 災害復旧支援（主に参加活動）

年度	活動先	実施回数	参加者数
2011	台風 15 号水害支援（郡山市）	2 回	2 名
2013	西伊豆水害復旧支援（幼稚園）ボランティアバス（主催）	1 回	21 名
	市民活動フェア	1 回	1 名
2014	兵庫県丹波市水害支援（参加）	1 回	1 名
2015	栃木水害支援（参加）	2 回	2 名
	神奈川県台風支援 PJ 情報交換会	1 回	1 名
	常総被災地視察	1 回	1 名
	常総ボランティア（参加）	2 回	3 名
	市民活動フェア	1 回	10 名
2016	神奈川県災害救援訓練	1 回	1 名
	市民活動フェア	1 回	16 名
2017	神奈川県支援センター開設訓練	1 回	1 名
	市民活動フェア（311 ネット協力）	1 回	1 名
2018	西日本豪雨災害会議	1 回	2 名
	西日本豪雨倉敷ボランティア	5 回	6 名
	新しい市民活動フェア	3 回	1 名
2019	市民活動フェア企画部会、市民活動フェア 2019	2 回	15 名
	台風 19 号連絡会、台風 19 号バス運行連絡会	8 回	13 名
	内閣府主催防災会	1 回	1 名
	（kfop 主催）災害復旧支援#1 便（南相馬市、本宮市）	1 回	6 名
	（kfop 主催）災害復旧支援#2 便（いわき市）雨天中止	0 回	0 名
	（kfop 主催）災害復旧支援#3 便（いわき市）	1 回	6 名
	（協力）認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワークいわき便	2 回	広報協力
	（協力）かながわ災害ボランティアバスチーム（丸森便）	1 回	広報協力
2020	なし		



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

1.4.6 維持管理（現地訪問）

年度	活動先	実施回数	参加者数
2011	福島県ボランティアセンター	1回	1名
	福島市社会福祉協議会	2回	2名
	安齋果樹園（飯坂）	1回	1名
	福島市役所	1回	1名
	福島ライフエイド	1回	1名
	福島屋台村	1回	1名
	ふくふくプロジェクト	1回	1名
2012	南相馬ボランティア活動センター	1回	4名
	南相馬市災害復旧復興ボランティアセンター	2回	2名
	フォレストパーク安達太良	1回	2名
	福島市役所	1回	3名
	大波上組営農（大波城址ひまわり）	1回	3名
	福島りょうぜん漬け本店	1回	3名
	福島県庁、浪江町役場（二本松）、富岡町役場（郡山） 花に願いを、花見山公園	1回 1回	1名 2名
2013	檜葉町役場、いわき市役所、富岡町役場	1回	2名
	花に願いを	2回	3名
	かながわ県民活動サポートセンター	1回	1名
	神奈川県庁	1回	2名
	南相馬市役所、南相馬市社協	1回	3名
	南相馬市役所、南相馬市社協、福島県庁、福島市役所、浪江町役場（二本松）、二本松市役所、浪江町社協（二本松）	1回	1名
	花見山公園弔問	1回	1名
	福島県社協、福島市社協、浪江町福島市出張所、笹谷東部仮設、福島大学ボラセン、浪江町役場（二本松）	1回	1名
	平沢応急仮設住宅（富岡町）、笹田東部応急仮設住宅 南台応急仮設住宅（双葉町） 相模原市社協、相模原市役所、相模原市災ボラ	1回 1回 1回	1名 3名 1名
2014	福島県庁、福島県社協、南相馬市役所、南相馬市社協	1回	1名
	azbil 面会	1回	1名
	日本橋ふくしま館	1回	1名
	大堀相馬焼協同組合（二本松）、旧松川小応急仮設住宅（飯舘村）、二本松農園、松川第一応急仮設住宅（飯舘村）、松川第二応急仮設住宅（飯舘村）、あぶくま茶屋（かーちゃんの力・プロジェクト）、小田部応急仮設受託、富岡町役場（郡山）	1回	1名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

年度	活動先	実施回数	参加者数
2015	道の駅ふくしま東和、ななくさ農園、NPO 法人コースター、福島市社協、こらっせ福島、かーちゃんの力・プロジェクト協議会、浪江町役場、浪江町社協、大熊町役場、大熊町社協、大熊町ふるさと応援隊、双葉町役場	1回	2名
	南相馬市小高区役所	1回	2名
	FAJ (NPO センター)	2回	2名
	双葉町役場	1回	2名
2016	TB コーポレートセールス横浜	1回	2名
	浪江町役場、富岡町役場、葛尾村役場、	1回	2名
	広野町	1回	1名
	一般社団法人葛力創造舎、川内村役場、川内村商工会議所、小高ワーカーズベース、大熊町応急仮設住宅	1回	2名
	講演会共催依頼 (あゆむ会、311 ネット、ボラバス)	1回	2名
	講演会協力依頼 (県サポ、つなぐ会、JC 青年会議所、廣田様)	1回	2名
	講演会協賛依頼 (シティアクセス(株)、azbil(株)、JTB 横浜、神奈川県建築安全協会)	1回	2名
	FAJ (鈴木様) 県サポ	1回	2名
2017	ふたすけ、浪江町社協、富岡町役場 (副町長)、福島市社協 (佐藤様)、こらっせ福島、福島東和、葛尾村、川内村、かわうちブドウ畑、川内村 Amazon、富岡町内	1回	2名
	視察研修挨拶 (川内村役場 (副村長)、小松屋旅館、いわたの郷、葛尾村役場 (村長)、café 嵐が丘、葛尾村社協、石井食堂)	1回	2名
	ふたすけ、富岡町役場 (副町長)、浪江町社協 (寄贈)、浪江町役場 (副町長)、小高区役所 (区役所長、蕎麦こごた、南相馬市役所、南相馬市社協、道の駅東和、菅野様)	1回	2名
	浪江町社協 (寄贈)	1回	7名
2018	いわき・双葉まごころ会 (お見舞い)	1回	1名
	ふたすけ、浪江町役場 (副町長)、小高区役所 (区役所長)、南相馬市社協、江井さん (火事見舞い)、大熊町 (市川さん)、双葉町役場 (町長)	1回	2名
	ふたばいんふお、まちづくりなみえ	1回	2名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

年度	活動先	実施回数	参加者数
	ふたばいんふお／ふたすけ（平山さん、鈴木さん、下枝さん）、特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま、カフェy、浪江町役場（副町長、今野さん）、浪江町社協（畠山さん）、炙り侍 響（昼食）、南相馬市社協（広瀬常務、村上事務局長、鈴木さん）、おだかぷらっとほーむ（廣畑さん）、小高パイオニアヴィレッジ（場所と外観のみ確認）、小高ストア（場所と外観のみ確認）、小高区復興拠点施設「小高交流センター」、中間貯蔵工事情報センター、みんなの交流館 ならは CANvas（見学）、一般社団法人 葛力創造舎、田村市のみやこじスイーツゆい、川内村あれ・これ市場	1回	2名
2019	福島 106 便(福島訪問 1-28) 2019.05.26-27 渡部様(大熊町)、大橋様(双葉町)、相馬市(星様)、相馬観光協会(遠藤様・井島様)、福島県港湾局(高橋様)、みなとや旅館(菅野様)、新地町(黒澤様・小野様・加藤様)、大熊町(風間様)	1回	2名
	(福島訪問 2-29) 2019.08.04 平山様(富岡町)	1回	1名
	福島 111 便(福島訪問 2-30) 2019.09.08-09 一般社団法人 AFW(代表 吉川様)、木戸川漁協協同組合(鮭ふ化場長 鈴木様)、一般社団法人おおくままちづくり公社(事務局長 高田様)、平山様(富岡町)、富岡ホテル(支配人 渡辺様)	1回	2名
2020	福島 122 便(福島訪問 31) 2020.08.08 ふたすけ(富岡町) 交流事業参加	1回	2名
	福島 125 便(福島訪問 32) 2020.09.06-07 川内村近況伺い：井出寿一様、原力様、井出茂様 双葉町視察研修、講演会等の調整・ご挨拶： ・双葉町役場 伊澤町長、橋本様(元秘書課、現総務課)、相楽課長(生活支援課)、武藤様(生活支援課 専門員)、土屋主査(秘書広報課)、大橋様(いわき・まごころ双葉会 事務局長) ・一般社団法人ふたばプロジェクト事務局長 石上崇様、山根光保子様	1回	2名
	福島 131 便(福島訪問 33) 2020.11.21-22 ・双葉町(東日本大震災・原子力災害伝承館、産業交流センター) ・鈴木大介様への講演会正式依頼(道の駅なみえ～鈴木酒造店長井蔵)、帰路：高畠ワイナリー立ち寄り	1回	2名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
《2020 年度(R02)活動実績・2021 年度(R03)活動計画》

1.4.7 (参考)

美味しいふくしま (有志活動)

本活動の費用など、当団体の運営費は一切使用していません。個人・有志活動です。

収益が出た場合は、経費を差し引いた残りの全額を、福島への復興に関わる支援団体、赤い羽根共同募金などへ全額寄付しています。

年度	実施日	会場	来場者	協力
2015	2015.8.3 17:00-22:00	復興バー銀座店 銀座	100 人超	有志メンバー
2016	2016.11.9 17:00-22:00	復興バー@銀座 青山 TRUNK HOTEL	100 人超	有志メンバー
2017	2017.7.8 15:00-21:30	復興バー@銀座 全国うまいもの交流サロンなみへい	100 人超	有志メンバー
2018	2018.8.20 18:00-22:00	復興バー@銀座 秋葉原 日本百貨店食品館特設スペース	100 人超	有志メンバー
2019	2020.1.29 18:00-22:00	復興バー@銀座 銀座 Nu dish deli & café	100 人超	有志メンバー
2020	見合わせ	コロナ禍により見合わせ	なし	なし



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

1.4.8 ご寄付・寄贈

寄付専用口座を持ち、HP掲載にて広く一般からの寄付（寄付・支援金・助成金）を受け入れる。ご寄付・支援金・助成金は、すべてHPに掲載し、その用途もすべて会計のHPに掲載する。多くの皆様からのご寄付・ご支援に感謝申し上げます。

《ご寄付・支援金等実績》

年度	項目	金額	ご寄付・支援元
2012	寄付・寄贈	403,822円	会員・一般の方からの寄付、事務用品等の寄贈 (お名前はHP掲載)
	助成金(寄付)	300,000円	一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様
2013	寄付・寄贈	472,571円	一般の方からの寄付、事務用品等の寄贈 (お名前はHP掲載)
	支援金(寄付)	300,000円	リコー社会貢献クラブ・FreeWill 様
	助成金(寄付)	500,000円	一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様
	支援金(寄付)	100,000円	富士ゼロックス神奈川(株)端数倶楽部 様 富士ゼロックス神奈川株式会社様 (マッチング制度)
2014	寄付・寄贈	253,545円	会員・一般の方からの寄付、事務用品等の寄贈 (お名前はHP掲載)
	助成金(寄付)	200,000円	一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様
	支援金(寄付)	200,000円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様 (マッチング制度)
2015	寄付・寄贈	604,461円	会員・一般の方からの寄付、事務用品等の寄贈 (お名前はHP掲載)
	支援金(寄付)	200,000円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様 (マッチング制度)
	支援金(寄付)	100,000円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 富士ゼロックス株式会社 様 (マッチング制度)
	助成金	210,000円	赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業 16K-010 (南相馬市小高区活動)
		231,000円	赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業 18K-005 (南相馬市小高区活動)
2016	寄付・寄贈	286,773円	会員・一般の方からの寄付、事務用品等の寄贈 (お名前はHP掲載)
	支援金(寄付)	200,000円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様 (マッチング制度)
	支援金(寄付)	100,000円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 富士ゼロックス株式会社 様 (マッチング制度)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

年度	項目	金額	ご寄付・支援元
	賛助金	30,000円 (30,000円)	シティアクセス株式会社 様 (azbil みつばち倶楽部 様)
	寄付 (一般)	5,000円	初参加者向け用 目的別寄付
	寄付 (一般)	51,200円	最少定員未達時用 目的別寄付
2017	寄付・寄贈	305,538円	会員・一般の方からの寄付、事務用品等の寄贈 (お名前はHP掲載)
	支援金 (寄付)	200,000円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様 (マッチング制度) 11/29 支援金を事業へ充当 (事業1: 95,000円、 事業6: 50,000円、事業7: 55,000円) ※事業1: 福島80便、福島81便に充当。
	支援金 (寄付)	200,000円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 富士ゼロックス株式会社 様 (マッチング制度) 寄付 (事業1: 52,000円、事業6: 48,000円、維持 管理: 100,000円充当) ※事業1は福島80便、福島81便に充当。
	賛助金	(30,000円)	(azbil みつばち倶楽部 様)
	寄付 (一般)	54,500円	初参加者向け等、バス寄付 4/22 福島72便に2口充当26,000円。12/9 福島 80便に初めて2名へ10,000円充当。 2/23 福島81便に3口充当、残額は帰路感謝の集 い参加者バス分へ充当3,000円/1口。
	寄付 (一般)	138,500円	浪江町社協への寄贈品寄付 2018. 3. 18 最終寄贈 (明細は寄付者へ提示済み)
	寄付・寄贈	408,520円	会員・一般の方からの寄付、事務用品等の寄贈、 一般社団法人 東北支援会+プラス様 50,000円 (お名前はHP掲載)
2018	支援金 (寄付)	200,000円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様 (マッチング制度) 支援金は事業へ充当 (事業1: 100,000円、事業3: 10,000円、事業4: 30,000円、維持管理60,00 円) させていただきました。
	支援金 (寄付)	200,000円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 富士ゼロックス株式会社 様 (マッチング制度) 支援金は事業費へ充当 (事業1: 80,000円、事業 3: 20,000円、事業4: 160,000円、維持管理: 40, 000円充当) させていただきました。



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

年度	項目	金額	ご寄付・支援元
	寄付 (一般)	23,000 円	南相馬市小高区に戻られた方への火事見舞い 19名
2019	寄付・寄贈	453,842 円	会員・一般の方からの寄付、事務用品等の寄贈 (お名前は HP 掲載)
	支援金 (寄付)	200,000 円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様 (マッチング制度) 支援金は事業へ充当
	支援金 (寄付)	100,000 円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 富士ゼロックス株式会社 様 (マッチング制度) 支援金は事業費へ充当
2020	寄付・寄贈	277,068 円	会員・一般の方からの寄付、事務用品等の寄贈 (寄贈：プリンターインク、切手、印刷用紙、団体名ゴム印) (お名前等の詳細は HP 掲載)
	寄付 (使途指定)	24,000 円	Zoom オンライン使用料 (都度契約から年額契約へ変更)
	支援金 (寄付)	200,000 円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様 (マッチング制度) 支援金は事業へ充当
	支援金 (寄付)	50,000 円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 支援金は 事業費へ充当

1.4.9 当団体からの寄付・寄贈

当団体から、会員に内容を示し寄付・寄贈を行った内容。

年度	項目	品目等	寄付・寄贈先
2012	寄贈	支援物資	双葉町の避難先 (埼玉) へ生活物資支援。 トイレットペーパー252、ロールティッシュ 420 箱、 ペットボトル水 288 本
	寄贈	刈払機 1 台	南相馬市生活復興ボランティアセンター
		刈払機 1 台	南相馬市ボランティア活動センター
	寄贈	鎌 10 本	南相馬市生活復興ボランティアセンター
	寄贈	桜の植樹他	花見山を守る会。桜の植樹 (2 口)、鎌 8 本、種 (ひまわり・アブラナなど)
	寄付	10,000 円	ふくしまキッズ
	寄付	50,000 円	福島市 (こども支援、花見山・花見山周辺整備)
2013	寄贈	50,000 円	福島県 (避難者支援)
		十能	西伊豆社会福祉協議会 (台風水害支援)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020 年度(R02)活動実績・2021 年度(R03)活動計画≫

年度	項目	品目等	寄付・寄贈先
	寄付	10,000 円	NPO 法人かながわ 311 ネットワーク
	寄付	10,000 円	福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」
	寄付・拠出	240,000 円	かながわ避難者と共にあゆむ会「ふるさとコミュニティ in かながわ」事業に寄付・拠出
	寄付・拠出	40,000 円	かながわ避難者と共にあゆむ会「交流会」事業に寄付・拠出
	寄付・拠出	20,000 円	かながわ避難者と共にあゆむ会「福島支援ふるさとバス運行(年末)」事業に事業に寄付・拠出
2014	寄付・拠出	130,000 円	かながわ避難者と共にあゆむ会「ふるさとコミュニティ in かながわ」事業に寄付・拠出
	寄付・拠出	50,000 円	かながわ避難者と共にあゆむ会「神奈川県内の避難者同士のコミュニティ作り交流会」事業に寄付・拠出
	寄付	10,000 円	「相双ふくしま子ども病院建設計画」(一般財団法人 相双未来基金) 後日、全体額が目標未達により中止で返金あり
	寄付	10,000 円	復興浜団(追悼復興花火)
	寄付・寄贈	圃場用設備への寄付	NPO 法人ザ・ピープルへ「福島のオーガニックコットン圃場にトイレやビニールハウス設置!」へ 50,000 円相当寄付
2016	寄贈	仮払機	復興浜団へ追悼復興花火に向け草刈りを行うための「刈払機」30,500 円相当
2017	寄贈	資機材	浪江町社会福祉協議会 138,500 円相当 刈払機、燃料、替羽、エアーコンプレッサー等
2018	お見舞い	23,000 円	火事見舞金、南相馬市小高区に帰還の方へ会員から募り“火事お見舞い”
2019	寄贈	土嚢袋 100 枚	台風 19 号 いわき市社会福祉協議会
		土嚢袋 100 枚	台風 19 号 南相馬市社会福祉協議会(原町)
		土嚢袋 100 枚	台風 19 号 相馬市社会福祉協議会
		土嚢袋 100 枚	台風 19 号 郡山市社会福祉協議会
		土嚢袋 100 枚	台風 19 号 本宮市社会福祉協議会
		水 10 箱	台風 19 号 相馬、2L×9 本入り
2020	なし	-	-



1.5 組織概要

	会議体	目的
(1)	総会	総会は年 1 回開催。 活動報告、活動計画などの運営を決議する。
(2)	定例会	定例会は都度開催。 開催日は定例会で決め議事録とする。
(3)	臨時会議	臨時総会、臨時定例会。 役員が必要と認めたとき、代表が招集する。

1.6 会員制度

	会員項目	役割	年会費
(1)	正会員	入会時、および次年度以降は年 1 回、会費を納入しなければならない。正会員より総会にて役員を選出する。	2,000 円/ 1 口以上
(2)	一般会員	本会の活動を支援する会員とする。	なし
(3)	賛助会員	財政支援の個人・団体の会員とする。入会時、および次年度以降は年 1 回、会費を納入しなければならない。	1,000 円/ 1 口以上
(4)	情報発信	【非会員】 情報発信に許諾いただいた方。	なし
(5)	参加登録	【非会員】 過去、活動または参加応募参加された方。	なし

正会員、一般会員、賛助会員、参加登録メンバーは当団体 ML に登録する。

情報発信メンバーは当団体の情報発信 ML に登録する。

それぞれ、ボランティア募集、講演会案内、各種情報発信を行う。

正会員会費は 2016 年度に 2,000 円/1 口以上とした。

会員番号 kfx999

K	Kanagawa	
F	Fukushima	
X	会員	0 : 正会員 (A : 内ふくしま応援隊) 、1 : 一般会員、2 : 賛助会員
	非会員	8 : 情報発信のメンバー、9 : 参加登録のメンバー
999	一連番号 (001~999)	



1.7 団体登録先・情報登録先

登録先	登録内容・登録日等
かながわ県民活動サポートセンター	利用団体 (2012.01.27 登録)
特定非営利法人 かながわ避難者と共にあゆむ会	正会員 (2020.04.13 更新)
NPO 法人 ボランティアインフォ	ボランティア情報登録 (都度)
東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)	会員団体 (2016.02.19 申請)
ふくしま連携復興センター	準会員 (2016.02.29 承認)
広域避難者支援連絡会 in 東京	メルマガ (2016.05.06 登録)
CANPAN FIELDS (団体ID: 1032639997) 5つ★	団体登録 (2016.06.01 登録)
福島市社会福祉協議会	ボランティア活動登録
南相馬市社会福祉協議会	ボランティア活動登録
浪江町社会福祉協議会	ボランティア活動登録
本宮市社会福祉協議会	ボランティア活動登録
いわき市社会福祉協議会	ボランティア活動登録
かづろうさんげ 実行委員会 (葛尾村)	団体登録 (2019.12.06)
横浜市市民利用施設予約システム	団体登録 (2020.01.10 登録)
一般社団法人ならはみらいの「ならは応援団」 (檜葉町)	団体登録 (2020.03.19 登録)



1.8 当団体運営

1.8.1 定例会・管理事項等

定期開催	かながわ県民センター 他、公営、民営の会議室など	11F 会議室 会場とオンラインで開催
議事録	議事録作成・管理	電子ファイルで保管
監事監査	事業、会計の監事監査	四半期毎に実施
寄付・寄贈	HP にすべて掲載	“ご寄付” のページ
会計	HP にすべて掲載	“会計報告” のページ
事業	事業のすべて	HP にすべて掲載

1.8.2 安全対策など

ボランティア活動保険	活動参加者の加入を確認	参加申込時
行事保険	行事实施時に加入	必要都度加入
活動マニュアル	活動場所ごとに作成	電子ファイルで保管
行程表	活動・行程表を都度作成	電子ファイルで保管
仮眠所	運転手仮眠所確保	各、現地で確保
コロナ禍の活動マニュアル	2020 年度新設	コロナ禍の運用

1.8.3 教育関係（自主受講済み事項、ボランティアの一部スキル）（役員）

環境省 水・大気環境局除染等業務に係る特別教育	渡辺孝彦、村上幸
除染等業務作業指揮者教育	村上幸
労働安全衛生法による安全衛生教育（刈払機）	渡辺孝彦、東尚子、村上幸、私市慎治
労働安全衛生法による特別教育（チェーンソー）	渡辺孝彦、東尚子、村上幸
赤十字救急法 救急員	東尚子、村上幸
労働安全衛生法による特別教育修了 （小型車両系建設機械）	村上 幸(2014. 05. 25 追加) 私市慎治(2015. 08. 23 取得)
防災士（NPO 日本防災士機構）	東 尚子(2015. 03. 19 追加) 村上 幸(2015. 12. 25 追加)

（注）掲載は一部（抜粋）

1.8.4 保有備品（個人保有を除く）

TERRA-P	4 台（購入）（活動時の計測管理）	参加者用
TERRA-N	6 台（購入）（活動時の計測管理）	参加者用
メディキタス CK-6	9 台（寄贈）（活動時の積算管理）	参加者用

（注）活動参加時の計測、積算を記録します。



2.2020年度活動実績

2 2020 年度活動実績（令和 2 年度）

2.1 福島の問題

東日本大震災から丸 8 年が経過した。現地の避難指示解除の経過は以下のとおりである。

田村市	2014 年 4 月 01 日 (H26) 解除 (都路地区)
川内村	2014 年 10 月 1 日 (H26) 避難指示解除準備区域 (東部) を解除 2016 年 6 月 14 日 (H28) 区域見直し後の全域を解除
檜葉町	2015 年 9 月 05 日 (H27) 解除
南相馬市	2016 年 7 月 12 日 (H28) 帰還困難区域を除き解除 (主に小高区)
双葉郡葛尾村	2016 年 6 月 12 日 (H28) 帰還困難区域を除き解除
相馬郡飯舘村	2017 年 3 月 31 日 (H29) 帰還困難区域を除き解除
双葉郡川俣町	2017 年 3 月 31 日 (H29) 解除 (山木屋地区)
双葉郡浪江町	2017 年 3 月 31 日 (H29) 帰還困難区域を除き解除
双葉郡富岡町	2017 年 4 月 01 日 (H29) 帰還困難区域を除き解除 2020 年 3 月 05 日 (R02) 帰還困難区域の一部 (夜ノ森駅周辺) を解除
双葉郡大熊町	2019 年 4 月 10 日 (H31) 帰還困難区域を除き解除 2020 年 3 月 05 日 (R02) 帰還困難区域の一部 (大野駅周辺) を解除
双葉郡双葉町	2020 年 3 月 04 日 (R02) 避難指示解除準備区域と双葉駅周辺を解除

現地で必要とされることは、東日本大震災や原子力災害により直接的、間接的に影響を受けた地域の復旧復興を目指し、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等を目指す現地の動きに賛同して「一緒に」活動することである。従来の現地活動だけにとらわれず、現地の人々が始めようとする心の汲み取り、自分の都合を中心にするのではなく、現地の人々に寄り添って活動し、また、災害の教訓を伝え続けることである。

2.2 活動方針

ボランティア団体として、以下の方針で活動を進める。

- ・ 活動できる場所であることの判断 (安全判断)
- ・ 活動するうえで必要とする知識 (安全知識)
- ・ 活動するうえでの現地受入団体の長との情報交換 (安全の担保)

現地と情報交換し、現地のニーズを確認したうえで活動を進める。

また、現地とのかかわりは長く続ける。

2.3 活動目的

2.3.1 現地活動

福島県内の復旧復興、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等の一助となるために一緒に汗を流し、つながる。

- (1) 福島県内での各種活動にボランティアとして参加して一緒に汗を流し、つながる。
- (2) 福島県内で開催される交流事業に参加し、一緒に楽しみ、心のつながりを育む。

2.3.2 連携活動

被災・避難当事者のためのつなぎ手となり、他団体や行政との連携を図る。

- (1) 神奈川県や周辺自治体、福島県の団体・行政とのつなぎ手として連携する。
- (2) 被災・避難当事者を支援する活動、交流会・支援会議等に参加する。

2.3.3 視察研修

福島県内の地域を訪問して視察研修を実施し、福島の当時・今・これからの伝えていく。

- (1) 福島の自治体や当事者との信頼関係を醸成したうえで計画、遂行する。
- (2) 視察研修の参加者報告をまとめて報告書とし、情報発信に活用する（伝える）。

2.3.4 情報発信

講演会や勉強会、イベントへの出展等を通じて、福島の現状、生の声を神奈川に伝える。

- (1) 福島から講師を招いて講演会や勉強会を企画し、直接お話を聴く機会を設ける。
- (2) 総会や懇親会と同日開催することで会員の参加を促す。
- (3) 被災地支援や市民活動にかかわるイベント等も活用し広く情報を発信する。

2.3.5 災害復旧支援

国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に緊急対応する。

- (1) 実際の活動については現地の状況に応じて決定する。
- (2) かながわ災害ボランティア活動支援室登録団体としての活動を行い、平時から他団体との情報交換や連携が可能な関係を築く。

2.3.6 維持管理

福島の民間団体や個人、行政とのつながりの維持を目的として福島訪問を行う。

2.3.7 その他

有志活動の「美味しいふくしま」を通して福島の食、文化、地域の魅力を伝える。

食べて応援、風評払拭のため、などの大義を掲げて押しつけるのではなく、純粹に美味しさ、楽しさを通じて魅力を感じていただき、日常に取り入れていただけるように情報提供する。

2.4 全体事業実績（概要）

福島活動の3つの柱である直接活動（福島県内での活動）、県内活動（神奈川県内での活動）、情報発信を中心とし5つの事業とし、以下に活動（事業詳細）を行う。

事業詳細	計画	
《事業1》 現地活動	計画	毎月1便を計画する。実施形態は、バス便、広域便にこだわらない。 バス便：18名以上、広域便：5人から8人程度。
	結果	<u>○新型コロナウイルス蔓延により現地活動を抑止した。</u> 活動の無い時期を活用して「コロナ禍の活動マニュアル」など、運営マニュアルの整備を図った。また、オンライン導入も進めた。
《事業2》 連携活動	計画	他団体や行政と連携し、被災・避難当事者のつなぎ手となるために、年4回まで現地の支援活動、交流会、支援会議等に参加する。
	結果	<u>○新型コロナウイルス蔓延によりオンライン活動を進めた。</u> 11回程、福島に関わるオンラインイベントに参加し連携の継続を進めた。今まで知らなかった先との関係構築も図れた。
《事業3》 視察研修	計画	福島県内で視察研修を実施し、福島の当時・今・これからを伝える。 【視察研修便】1回、参加者20人、視察研修8号。規模や形式の見直し（活動と組み合わせでの視察や、現地集合・解散で日帰り参加も可能にするなど）を検討・立案し承認の上で行う。
	結果	<u>○新型コロナウイルス蔓延により視察研修の実施を抑止した。</u> 計画先への事前訪問を行い、現地の様子も確認しながら現地集合・解散も含めて検討を進めた。次への繋がりには維持している。
《事業4》 情報発信	計画	講演会や勉強会、福島の現状、生の声を神奈川に伝える。 【勉強会】6月、1回、50人、第10回勉強会 【講演会】1月、1回、50人、第11回講演会
	結果	<u>◎オンラインを導入し計画的に実施した。</u> 会場およびオンラインでの同時開催を促進した。また、オンラインにより20代、初めての方の参加などあり幅が広がる成果があった。
《事業5》 災害復旧支援	計画	国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に対応する。また、平時から他団体との情報交換や連携が可能な関係を築く。
	結果	<u>×台風による被災などあったが、何も手を打てなかった。</u> 現地での支援は行わなくとも、地元で出来ることがある。今後の改善課題である。
《維持管理》 現地訪問等	計画	福島県内の民間団体、個人、行政とのつながりの維持を目的とした現地訪問を適宜実施する。年4回（上期2回、下期2回）
	結果	<u>○年3回の訪問が行えた。</u> 福島との繋がり、活動の繋がり、講演会、視察研修の調整など、コロナ禍の中で感染防止も図り維持した。

(補足文)

2020.4.1

2020年度事業基本計画

活動の3つの柱である現地活動（福島県内での活動）、連携活動（神奈川県内を含む関東圏での活動）、情報発信（広く一般の方に）を基本として事業を計画する。

事業1：現地活動

福島県内の復旧復興、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等の一助となるために一緒に汗を流し、つながる。

- (1) 福島県内での各種活動にボランティアとして参加して一緒に汗を流し、つながる。
- (2) 福島県内で開催される交流事業に参加し、一緒に楽しみ、心のつながりを育む。

事業2：連携活動

被災・避難当事者のためのつなぎ手となり、他団体や行政との連携を図る。

- (1) 神奈川県や周辺自治体、福島県の団体・行政とのつなぎ手として連携する。
- (2) 被災・避難当事者を支援する活動、交流会・支援会議等に参加する。

事業3：視察研修

福島県内の地域を訪問して視察研修を実施し、福島の当時・今・これからを伝えていく。

- (1) 福島の自治体や当事者との信頼関係を醸成したうえで計画、遂行する。
- (2) 視察研修の参加者報告をまとめて報告書とし、情報発信に活用する（伝える）。

事業4：情報発信

講演会や勉強会、イベントへの出展等を通じて、福島の現状、生の声を神奈川に伝える。

- (1) 福島から講師を招いて講演会や勉強会を企画し、直接お話を聴く機会を設ける。
- (2) 総会や懇親会と同日開催することで会員の参加を促す。
- (3) 被災地支援や市民活動にかかわるイベント等も活用し広く情報を発信する。

事業5：災害復旧支援

国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に緊急対応する。

- (1) 実際の活動については現地の状況に応じて決定する。
- (2) かながわ災害ボランティア活動支援室登録団体としての活動を行い、平時から他団体との情報交換や連携が可能な関係を築く。

維持管理

福島の間団体や個人、行政とのつながりの維持を目的として福島訪問を行う。

その他

有志活動の「美味しいふくしま」を通して福島の食、文化、地域の魅力を伝える。

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

2.5 事業詳細

2.5.1 《事業 1》現地活動

(1) 現地課題

福島県、特に原子力被災 12 市町村（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村）では、段階的に避難指示の解除が進んでいる。直近では、2019 年 3 月 10 日に大熊町で帰還困難区域を除いて避難指示が解除された。また 2020 年 3 月 14 日には、常磐線の全線運行再開に伴い、帰還困難区域のうち双葉駅、大野駅、夜ノ森駅の周辺と一部道路について避難指示が解除された。しかし復旧復興のスピードは一樣ではなく、当事者間での格差も生まれている。

一方で、現地の方々や事業者で対応できることは自ら解決する、ある意味で当然とも言える動きもあり、遠方からボランティアに行くこと自体、もう必要ないとの声もある。

この事業では、福島県内の復旧復興、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等の一助となるために、現地で必要とされることをお手伝いする。一時的なボランティア活動ではなく、地域を支える一助となれるよう継続的にかかわっていくことも必要である。

(2) 活動目的

福島県内の復旧復興、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等の一助となるために、現地で必要とされることをお手伝いする。

一時的なボランティア活動ではなく、地域を支える一助となれるよう継続的にかかわっていくことも必要であり、毎月一回、現地へ足を運ぶことを継続する。地域とのつながりも醸成する。

(3) 活動実績

(参加者数)

計画	実績
毎月 1 便を計画する。	新型コロナウイルスにより 12 便の実施を見送った。実施は 10/24-25 現地活動コットン畑交流会「風と遊ぶ農園はばたけ」、02/14 オンラインによる葛尾村祝言式。

(4) 会計実績

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	410,000	310,000	合計	410,000	0
			収支(△繰越)	0	△310,000

(補足 1) 広域便のレンタカー代(含む保険等)は kfop 支払い、他の実費全額は参加者で按分。

(補足 2) 現地集合・解散の旅費・交通費の上限 5,000 円を kfop 経費計上とした。

(5) 活動成果

新型コロナウイルス感染拡大防止により、12 便の実施を見合わせた。

一部、今後の活動の繋がりとして、富岡町のコットン畑交流会「風と遊ぶ農園はばたけ」に参加した。また、オンラインにより 02/14 葛尾村祝言式に参加した。現地活動ができない時期は今後への「コロナ禍の活動マニュアル」作成・制定など運用整備を進めた。

(6) 参加者の声(一部)

葛尾村の祝言式はオンライン参加であったが、地元の方と久々に顔を合わせることができた。

2.5.2 《事業2》連携活動

(1) 現地課題

避難されている方々の声に耳を傾け、共に進んでいく。また関東の自治体・社協などとの情報交換が必要とされてくる部分もある。福島と神奈川をつなぐ当団体として引き続き協力する。

(2) 活動目的

当団体は福島の現地に赴く団体として、現地と神奈川のつなぎ手となる。
 また、神奈川、東京、現地での交流会、会議などに参加し継続して情報を得る。
 あゆむ会からの共催・協力要請に応じてできることの事業協力を行う。

(3) 活動実績

(参加者数)

計画	実績
年4回、現地開催の支援活動、交流会、支援会議等に参加する。	オンラインによる連活動を促進し、11回程度のオンラインイベントへ参加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・JCN3.11の今が分かる会議 ・相模原市社協の公開講座 ・福島の各種オンラインイベント

(4) 会計実績

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	80,000	80,000	合計	80,000	5,220
			収支(△繰越)	0	△74,780

(5) 活動成果

オンライン参加を積極的に行い、多様な交流を進めた。
 また、kfopメンバーにも情報発信を行い、参加を促した。
 顔のつながりがなくとも顔の見えるオンライン参加であり、現地に行くことなく現地の様子、現地の方々との交流も図れる。今後とも積極的な参加を期待したい。

2.5.3 《事業3》視察研修

(1) 課題

現地に行き、自分の目、耳、体で感じ、現地の今を神奈川に伝えていく必要がある。
 今までの活動のつながりを活かし、変わらずに継続して進める。

- ・ 東日本大震災と原発事故を『伝える』
- ・ 地元の現状、今を『正しく知る・伝える』
- ・ 自分たちにできることを『考える』

(2) 活動目的

現地に行き福島に関わるものとして、避難区域の今を知って活動を行う。
 年1回実施する。

(3) 活動実績

(参加者数)

計画	実績
【視察研修便8号】1回、参加者20人	現地訪問まで

(4) 会計実績

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	150,000	130,000	合計	150,000	0
			収支(△繰越)	0	△130,000

(補足1) 視察研修便は全額参加者負担。バス代、宿泊代等は参加者が直接支払う。

(補足2) 計画予算および実績は、視察研修の参加者実費以外の事前事後の調整・現地打合せ費用、現地ご案内費、視察研修冊子化費用である。

(5) 活動成果

維持管理の費用・訪問で視察研修先との調整を進めた。

コロナ禍にあり、多様な意見を検討、地元への配慮の上で、2021年度の視察研修便は見送りとした。

検討した案は概ね以下の3方式であり、当団体でZoom活用もしており、次年度も同様な環境である時は実施の一つの方法としていく。

検討案1：現地集合・解散、現地でマイクロバスをチャーターしてなどの実施（常磐線も開通しており、参加者が自ら電車で行くのも良い機会であり、今後とも取り入れて行きたい）

検討案2：オンラインでの実施（一部スタッフが現地の方と共に映像で案内を行う。コロナ禍においては十分な感染予防を図る。）

検討案3：オンラインでの実施（現地の方に映像で案内を行っていただく。現地の方に全ての負担をお願いすることとなる。関係醸成の上で進める。）

(6) 参加者の声

なし



2.5.4 《事業 4》情報発信（講演会等）

(1) 課題

神奈川県内への情報発信は「伝える」ために必要である。

年に2度（上期：勉強会、下期：講演会）を通して、福島の方を招き、神奈川への発信を継続する必要がある。

(2) 活動目的

現地の方を招き講演会などを継続し、神奈川に福島を伝えていく。

(3) 活動実績

(参加者数)

計画	実績
第10回勉強会、第11回講演会	【勉強会】6月、1回、22人、第10回#1勉強会 9月、1回、14人、第10回#2勉強会 【講演会】2月、1回、59人、第11回講演会

(4) 会計実績 (単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	460,000	300,000	合計	460,000	117,030
			収支(△繰越)	0	△342,970

(補足1) 旅費交通費は講師招致費。また調整打ち合わせ等費用は維持管理費で行う。

(5) 活動成果

勉強会、講演会共にコロナ禍であったが「コロナ禍の活動マニュアル」に準じて、またオンラインを導入し、日程の調整はあったが計画通りに実施した。オンラインは利用増加当初にzoomで脆弱性の指摘があった。その後に暗号化対策などセキュリティの改善、強化がなされた。利用時は、事前に最新のソフトウェア更新を確認している。

- ・勉強会は、初めてのオンライン開催であり、初回はオンラインのみで実施した。会員からオンラインが使えない環境の方もいるとの指摘も頂戴し2回開催することし、2回目は会場とオンラインの同時開催とした。

勉強会#1：認定NPO法人かながわ311ネットワークの代表理事伊藤朋子様を講師にお招きし「災害時における広域連携の必要性」について勉強を行った。

勉強会#2：コロナ禍で感染対策をして活動を行うための「JVOADの災害対応ガイドライン」および研修資料を元にした勉強、および「コロナ禍の活動マニュアル」をkfopとして制定した。その説明・勉強を行った。

- ・講演会は、株式会社鈴木酒造店の鈴木大介様をお招きして「地域とともにある酒造り」をテーマにふるさと浪江町と山形県長井市の2地域で酒造りを続けることを決意した鈴木さんのお話をお聞かせいただいた。講演会はオンラインおよび横浜のサテライト会場と各地をオンラインで結び行った。参加者59名、初めての方、20代の方にも参加いただき、オンライン開催ならではの良い面を知ることが出来た。

(6)参加者の声（一部）

①勉強会 ≪感想・意見≫

- ・ オンライン勉強会について、自宅にいながら参加できるのは良い。

- ・ オンラインも一つの方法で頻度も増えるかな、身近な自分の PC で参加できる。
- ・ 映像が途切れることなく（音声は聞きづらかった）クリアーで、考えていたより臨場感があり楽しかった。
- ・ オンラインで勉強会が出来たこと、内容も適切で良かったと思う。
- ・ 質疑や意見交換を含み 2 時間は必要であった。懇親会はその後で良かったのではないかな。
- ・ スマホが途中で電源切れになり、一時退席しました。
- ・ フリーの会話や雑談の時、話すタイミング、参加のタイミングが難しい、慣れも必要かな。
- ・ 参加して不満はありませんが、プライバシーや個人情報等の漏洩対策をお願いします。
- ・ 時間はオーバーしましたが、当初のことから本題へと全体が聴けて良かったと思います。
- ・ 講師の話はとても分かりやすく、聴きやすかった。
- ・ 時間や場所を選ばずに出来る勉強会でした。オンライン勉強会を続けて頂きたい。

②講演会 《感想・意見》

- ・ 磐城壽さんの蔵見学がとてもよかったです！質疑応答の時間もあったので、いろいろな意見が聞けたことも参考になりました。
- ・ 福島の全体、浪江町の様子、長井市の様子を知り、お話をお聴きできた。
- ・ 新たな地での取り組みや地域の方達と共に歩み、福島へ戻るといふ震災から 10 年が経過した結果(まだ途中ですが)を知る事ができる様な内容でとても良かったです。また、鈴木酒造店さんの講演のみならず、コロナ禍において何う事ができない、福島の現状や福島での活動について知る事ができて良かったです。
- ・ 登壇の方々が、挨拶だけでなく、一定の時間お話された事
- ・ 今の浪江町の状況が分かった！
- ・ 本当は蔵見学に行かないと見れない蔵の中まで見せてくださり感激しました。また、お酒造りに対する姿勢やバックボーン、蔵を囲む自然の状況を観光局の方のご説明も大変わかりやすく、あっという間の 2 時間でした。
- ・ リモートの講演会、思っていたより多くのことが知り学ぶことができました。全体の時間が長く感じました。でも、それだけ色々なことが知れたのでしょ。
- ・ 鈴木酒造さん始め、浪江の積極的な取り組みが素晴らしい、感動しました。鈴木酒造さんのことは知っていましたが、さらに具体的なお話、また、長井の土地の素晴らしさを知ることができ、一度訪れてみたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 見事に復興させた鈴木商店の酒造り、見事でした。後継者の大介氏の人柄と努力の結果に感服でした。私が福島に来た当時は他に上田酒造（天王山）、馬場酒造（楽貫）2 社の酒蔵がありましたが、震災直前から名前が聞こえません。天王山の麴菌のことは言っていました、馬場酒造の楽貫（たのしみ）のことは言っていないが前町長の縁者の酒蔵です。そのほかに近隣では双葉町の富沢酒造（白富士）、檜葉町にもありましたが、震災の 5～6 年前に廃業しています。いずれにしても、地域の伝統的産品また稼業をまもった大介氏の取り組みは見事だと思いました!!
- ・ 浪江町道の駅の展開がとても気になっていたもので、タイムリーな題材でした。鈴木酒店と山形県、長井市の繋がりそれぞれの魅力が紹介され、今後 kfop さん主催のツアーがあれば参加したいです。

2.5.5 《事業5》災害復旧支援

(1) 課題

近年、大規模な自然災害が毎年のように発生している。2019年には、九州北部豪雨、台風15号、19号と立て続けに激甚災害が発生し、神奈川県内でも災害ボランティアセンターが設置された。同時期に各地で被害が発生したことからボランティア等が分散し、人手不足で復旧作業が長期化する事態となったのは記憶に新しい。

一方で、行政、民間団体、個人ボランティアなどが平時から顔の見える関係を築き、情報交換と連携ができるようにしておかなければ、いざというときにバランスよく支援が行えない懸念もあるため、体制づくりは必要である。

(2) 活動目的

国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に対応することを事業として明確にし、体制づくりをする。実際の活動については現地の状況に応じて決定する。

また、かながわ災害ボランティア活動支援室登録団体としての活動を行い、平時から他団体との情報交換や連携が可能な関係を築いていく。

(3) 活動実績

(参加者数)

計画	実績
体制づくり。平時から他団体との情報交換。実際の活動は現地の状況に応じて決定する。	なし

(4) 会計実績 (単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	480,000	57,068	合計	480,000	0
			収支(△繰越)	0	△57,068

(5) 活動成果

台風による被災があったが、何も手を打てなかった。

コロナ禍であり、現地での災害復旧支援はできないが、現地での支援は行わなくとも、地元で出来ることがある。今後の改善課題である。

(6) 参加者の声 (一部)

- ・ なし

2.5.6 《維持管理》

(1) 課題

各事業を企画運営するうえで、福島県内の行政、社会福祉協議会、民間団体等との連携は不可欠である。担当者の異動や交代なども考慮して、定期的な訪問でつながりを維持することが重要である。

(2) 活動目的

上期、下期に各 2 回程度、福島県内の行政、社会福祉協議会、民間団体等訪問し、つながりを維持する。また、視察研修や講演会の調整なども念頭に置き、効率のよい訪問を計画する。

(3) 活動実績

(参加者数)

計画	実績
年 4 回訪問を行う。	訪問を 3 回実施。

(4) 会計実績 (単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	522,703	538,710	合計	522,703	177,838
			収支(△繰越)	0	△344,865

(5) 活動成果

コロナ禍であったが「コロナ禍の活動マニュアル」に即して感染防止を図り 3 回実施した。訪問は現地とのつながりを維持するために必要であり、今後も計画的に訪問する。

主な訪問は次のとおり。

①08/08(土)-08/08(土)福島 122 便 (維持担当訪問 31)

現地活動の調整を目的として、ふたすけ(富岡町)交流事業に参加した。

2021 年度の活動へ計画を組み込んでいく。

②09/06(日)-08/07(月)福島 123 便 (維持担当訪問 32)

視察研修、現地繋がり維持として、川内村、双葉町役場、一般社団法人ふたばプロジェクトを訪問した。双葉町役場では、伊澤町長、いわき・双葉まごころ会の大橋さんも同席の上で現況などお話を伺った。一般社団法人ふたばプロジェクトとはオンラインでの視察研修など実施案の意見を交わした。2021 年度の活動へ反映していく。

③11/21(日)-11/27(日)福島 124 便 (維持担当訪問 33)

講演会の調整、依頼などを目的として、浪江町、山形県の長井市の鈴木酒造店を訪問した。また、双葉町(東日本大震災・原子力災害伝承館、産業交流センター)、帰路に高畠ワイナリーにも立ち寄った。各関係の協力をいただき、物販も含めて講演会を計画通りに実施した。

2.5.7 《その他》

2020 年度「美味しいふくしま」(有志活動)は、コロナ禍により開催は見送られた。各種情報発を進めた。



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

2.5.8 予算実績 (決算)

(1) 活動計算書



活動計算書

かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

2020年4月1日 ~ 2021年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額					
	計画 金額(小計)	実績 金額(小計)	計画 金額(中計)	実績 金額(中計)	計画 金額(合計)	実績 金額(合計)
I 経常収益						
1. 受取会費						
受取会費	110,000	92,000	110,000	92,000		
2. 受取寄付金						
受取寄付金(一般)	480,000	277,068				
受取寄付金(目的)	0	24,000	480,000	301,068		
3. 受取支援金等(寄付)						
受取民間支援金1	300,000	200,000				
受取民間支援金2	200,000	50,000	500,000	250,000		
4. 事業収益						
事業1収益		0				
事業2収益		0				
事業3収益		0				
事業4収益	240,000	0				
事業5収益		0				
(未使用)		0				
(未使用)		0				
(未使用)		0				
(未使用)		0				
維持収益		0	240,000	0		
5. その他収益						
受取利息		7	0	7		
経常収益計					1,330,000	643,075
II 経常費用						
1. 事業費						
(1)人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
事業支払負担金	0	1,000				
事業諸謝金	180,000	45,500				
事業源泉徴収額	20,000	4,548				
事業印刷製本費	30,000	0				
事業会議費	10,000	63,108				
事業旅費交通費	864,800	45,334				
事業通信運搬費	0	1,114				
事業消耗品費	0	0				
事業保険料	0	0				
事業支払手数料	0	1,980				
事業支払寄付金	0	0				
事業諸会費	160,000	5,000				
事業雑費	315,200	12,398				
その他経費計	1,580,000	179,982				
事業費計			1,580,000	179,982		
2. 管理費						
(1)人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
管理支払負担金	0	0				
管理印刷製本費	130,000	27,180				
管理会議費	10,000	10,143				
管理旅費交通費	180,000	41,778				
管理通信運搬費	12,000	5,678				
管理消耗品費	0	0				
管理保険料	0	0				
管理支払手数料	0	330				
管理支払寄付金	0	0				
管理諸会費	20,900	15,471				
管理雑費	169,803	19,528				
その他経費計	522,703	120,106				
管理費計			522,703	120,106		
経常費用計					2,102,703	300,088
当期正味財産増減額					-772,703	342,987
前期繰越正味財産額					772,703	772,703
次期繰越正味財産額					0	1,115,690

(2021年3月31日 現在)



(2) 貸借対照表

貸借対照表



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

2020年4月1日 ～ 2021年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
横浜BK会費口	1,115,690	
横浜BK寄付口	0	
仮払金	0	
流動資産合計		1,115,690
2. 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		1,115,690
II 負債の部		
1. 流動負債		
仮受金	0	
前受金	0	
未払金	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
役員借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	772,703	
当期正味財産増減額	342,987	
正味財産合計		1,115,690
負債及び正味財産合計		1,115,690

(2021年3月31日 現在)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

(3) 財務諸表の注記

財務諸表の注記



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

(会計期間 : 2020年4月1日 ~ 2021年3月31日まで)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。
 資産は、口座預金(会費口、寄付口)のみ、固定資産なし。借入等の負債なし(前受、仮受を除く)

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	事業1 現地活動	事業2 連携活動	事業3 視察研修	事業4 情報発信	事業5 災害支援	事業 部門計	維持管理	合計
I 経常収益								
1. 受取会費(新規)	0	0	0	0	0	0	92,000	92,000
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	110,000	110,000
2. 受取寄付金(新規)	160,000	40,000	0	20,000	57,068	277,068	0	277,068
【事業計画】	160,000	40,000	0	20,000	200,000	420,000	60,000	480,000
3. 受取支援金等	0	0	0	100,000	0	100,000	150,000	250,000
【事業計画】	100,000	0	20,000	100,000	0	220,000	80,000	300,000
4. 受取目的寄付等 (※2助成金)	0	0	0	0	200,000	200,000	0	200,000
【事業計画】	0	0	0	0	200,000	200,000	0	200,000
5. 事業収益(参加費)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	160,000	80,000	240,000	0	240,000
6. 前期繰越金(寄付)	150,000	40,000	130,000	180,000	0	500,000	272,703	772,703
7. 前期繰越金(目的)	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 前期繰越金(会費)	0	0	0	0	0	0	0	0
9. その他収益	0	0	0	0	0	0	7	7
経常収益計	310,000	80,000	130,000	300,000	57,068	877,068	538,710	1,415,778
【事業計画計】	410,000	80,000	150,000	460,000	480,000	1,580,000	522,703	2,102,703
II 経常費用								
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
諸謝金	0	0	0	45,500	0	45,500	0	45,500
源泉徴収額	0	0	0	4,548	0	4,548	0	4,548
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	27,180	27,180
会議費	0	0	0	63,108	0	63,108	24,414	87,522
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	87,112	87,112
車両費	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	1,114	0	1,114	5,678	6,792
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	220	0	1,760	0	1,980	330	2,310
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	5,000	0	0	0	5,000	1,200	6,200
支払負担金	0	0	0	1,000	0	1,000	0	1,000
雑費	0	0	0	0	0	0	31,924	31,924
その他経費計	0	5,220	0	117,030	0	122,250	177,838	300,088
経常費用計	0	5,220	0	117,030	0	122,250	177,838	300,088
当期経常増減額	310,000	74,780	130,000	182,970	57,068	754,818	360,872	1,115,690

(※1:表示項目の金額は寄付口から会費口(事業用口座)へ振替額または予定額を示す。)

3. 目的寄付・支援金の内訳 (「(限定)」は使途制限ありの目的寄付・助成金等)

内容	期首残高	当期 増加額	当期 減少額	期末残高	備考
(限定) Zoom利用費用	0	24,000	17,914	6,086	6月:1,810円(5月分)、7月:1,833円(6月分)、 8月:1,186円(7月分)、年契約へ切替(年額):12,455円
受取支援金1 (申請:200,000円)計画	0	200,000	162,959	37,041	計画「事業1:60,000円、事業3:10,000円、事業4:40,000円」、 維持:70,000円」→実績「事業4情報:50,000円、維持:150,000円」
受取支援金2 (申請:100,000円)計画	0	50,000	50,000	0	計画「事業1現地:20,000円、事業3視察:10,000円、事業4情報: 60,000円、維持:10,000円」→実績「事業4情報:50,000円」
(限定) 助成金※2 (申請:200,000円)計画	0	0	0	0	※2:災害発生時に申請計画の助成金額
	0	0	0	0	
合計	0	274,000	230,873	43,127	期末残額は次年度活動へ繰越させていただきます。 (2021年3月31日 現在)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

(4) 財務諸表の注記 (補助簿)

財務諸表の注記(補助簿)「目的別寄付、支援金(計画・実績)」



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

(会計期間 : 2020年4月1日 ~ 2021年3月31日まで)

目的別寄付 (計画・実績)						
収入			支出			
費目	計画	実績	費目	計画	実績	詳細(実績)
Zoom利用費用	0	24,000	維持:Zoom利用料	0	17,914	6月:1,810円(5月分) 7月:1,833円(6月分) 8月:1,186円(7月分) 年額:12,455円(8月-7月分)
合計	0	24,000	合計	0	17,914	
収支			0 6,086 次年度のZOOM契約へ繰越			

支援金1 (計画・実績)						
収入			支出			
費目	計画	実績	費目	計画	実績	詳細(実績)
受取支援金1	200,000	200,000	事業1:現地活動 (維持管理へ)	80,000		2020年は新型コロナで中止、次年度の現地活動の調整へ維持管理の現地訪問で活用とした。
				-80,000		
			事業3:視察研修 (情報発信へ)	10,000		2020年は新型コロナで中止、第11回講演会の実施へ情報発信で活用とした。
				-10,000		
			事業4:情報発信 (視察研修より)	40,000	63,449	05/30第10回勉強会 ¥10,000
				10,000		09/06第10回勉強会 ¥5,920
			(中止、会場キャンセル料)			01/16第11回講演会 ¥2,540
						02/06第11回講演会 ¥44,989
		維持管理 (現地活動より)	70,000	99,510	08/08-08:現地訪問31 ¥19,942	
			80,000		09/06-07:現地訪問32 ¥37,790	
					11/21-22:現地訪問33 ¥41,778	
合計	200,000	200,000	合計	200,000	162,959	
収支			0 37,041 次年度勉強会へ繰越			

支援金2 (計画・実績)						
収入			支出			
費目	計画	実績	費目	計画	実績	詳細(実績)
受取支援金2	100,000	50,000	事業1:現地活動	20,000		
			事業3:視察研修	10,000		
			事業4:情報発信	60,000	50,000	会場費:54,648円に充当
			維持管理	10,000		
合計	100,000	50,000	合計	100,000	50,000	
収支			0 0			

助成金 (計画・実績)						
収入			支出			
費目	計画	実績	費目	計画	実績	詳細(実績)
助成金 (災害発生時に申請計画額)	200,000		事業4:災害復旧支援	200,000		
合計	200,000	0	合計	200,000	0	
収支			0 0			

(2021年3月31日 現在)



(5) 監査報告書 (会計、事業)

実施中

2.6 2020年度の役員・スタッフ

2.6.1 役員・スタッフ

区分	役割	氏名	兼務等	
役員	代表	渡辺 孝彦	重任	兼 会計、渉外、あゆむ会副理事長
	広報	東 尚子	重任	
		村上 幸	重任	
		私市 慎治	重任	
		長崎 羊子	重任	
監事		平野香 誉子	重任	監事（業務監査、会計監査）、記録
		矢島 國紀	退任	2020年6月20日総会で退任
協力スタッフ (敬称略) 18人		森本健、矢島國紀、池田学、荒川朱美、森田清、北田美代子、岡村恭子、岩崎眞澄、柿木都、山下潔、田村武司、後藤民夫、小村清一、長田剛、福田光、武田恒男、橋本洋子、木幡四郎、		

(説明) 協力スタッフ：会員に限らず都合の着く時に事業に協力していただける方

2.6.2 事業担当

事業	事業名	主担当	
事業 1	現地活動	役員	渡辺孝彦, 東 尚子
		協力	1-3:後藤民夫, 小村清一, 池田学, 長田剛, 福田光, 北田美代子
事業 2	連携活動	役員	東 尚子, 渡辺孝彦, 長崎羊子
		協力	2-2:矢島國紀
事業 3	視察研修	役員	渡辺孝彦, 東 尚子
		協力	3-1:北田美代子, 矢島國紀
事業 4	情報発信	役員	東 尚子, 渡辺孝彦, 村上 幸
		協力	4-1:森本健, 矢島國紀, 北田美代子, 岡村恭子, 柿木都, 岩崎眞澄, 田村武司, 4-3:矢島國紀
事業 5	災害復旧支援	役員	村上 幸, 私市慎治
		協力	5-1:池田学, 荒川朱美, 5-2:矢島國紀 5-3:森田清
維持管理	維持管理	役員	渡辺孝彦, 東 尚子
		協力	6-1:森本健
(関連事業)	美味しいふくしま	役員	村上 幸, 東 尚子
		協力	7-1:岡村恭子, 山下潔, 武田恒男, 橋本洋子, 木幡四郎

(説明) 協力：会員に限らず都合の着く時に事業に協力していただける「協力スタッフ」



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

≪事業毎に協力していただきたい内容は異なります≫

- 【事業1】 1-1【現地活動】現地活動リーダー
- 1-2【現地活動】活動報告作成（アンケート集計、活動報告、写真など）
- 1-3【現地活動】運転スタッフ（安全運転の前提）
- 【事業2】 2-1【連携活動】広域避難関係の交流会、勉強会、講演会出席など
- 2-2【連携活動】災害等の連携活動（会議出席、情報連携など）
- 【事業3】 3-1【視察研修】視察研修報告の文章起こし（word）
- 【事業4】 4-1【情報発信】情報発信全般の企画、運営
- 4-2【情報発信】勉強会・講演会の企画、運営、報告書作成
- 4-3【情報発信】市民活動フェアの企画、運営、報告書作成
- 【事業5】 5-1【災害復旧支援】災害復旧支援の全般（企画、運営、報告など）
- 5-2【災害復旧支援】災害情報収集&情報発信（メール,HP,FB など）
- 5-3【災害復旧支援】助成金申請～報告までの手続き
- 【維持管理】 6-1【維持管理】Webアルバム保存
- 【美味しいふくしま】
- 7-1【美味しいふくしま】調理担当、飲み物コーナー担当、写真

2.6.3 2020年度会員推移（2021年3月31日）状況

（単位：人）

区分		総人数	女性	男性
正会員	0/A	44名(-4)	17名(-2)	27名(-2)
一般会員	1	121名(+5)	43名(+3)	78名(+2)
賛助会員	2	11名(+2)	5名(±0)	6名(+2)
情報発信	8	23名(±0)	10名(+1)	13名(-1)
参加登録	9	90名(±0)	35名(±0)	55名(-1)
合計		289名(-4)	110名(+2)	179名(±0)

（補足）（）内は前年度2020年3月31日対比

2.7 2020 年度総括（令和 2 年）

はじめに、2020 年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により、福島に赴くこと、また神奈川県内での行動も大きく制限されることとなった。

対策として、前年度末からオンラインを取り入れ、試行を進め、2021 年度の期初からオンラインおよび会場との同時開催による定例会、勉強会、講演会など促進した。

また、福島に赴くことが出来ない時期を活用して「コロナ禍の活動マニュアル」などコロナ禍での活動を行う時の運営マニュアルの整備を行い、維持管理目的による現地訪問、会場（オンラインと同時）での定例会、勉強会、講演会、現地活動も感染を防止した上で行える運用を整えた。加えて、オンラインによる福島との交流会など多数のオンラインイベントの企画があり、会員へ紹介また参加することにより、福島とのかかわりを続ける動きを進めた。

現地活動においては、葛尾村の祝言式に本来は現地での参加を計画していたがオンラインで参加した。講演会は、横浜の会場、福島の現況説明は郡山から、浪江町の様子は浪江町から、講師は山形県の長井市からとオンラインを繋いで多くの方の協力、参加を得て開催した。さらに特設の山形県長井市の物販サイトも設けていただき、参加者に長井市、浪江町の物販購入もしていただけた。

コロナ禍の中、出来る対策を行い「何もしない」にならずに、できることの活動を進めた。

2.7.1 現地活動

12 回の福島便の実施を見送った、その中でも、富岡町の畑での交流も事前調整で参加、葛尾村の祝言式へのオンライン参加など、実活動は少なかったものの繋がり維持を図った。

2.7.2 連携活動

オンラインでの交流企画が多く発信され、約 11 のオンラインイベントに参加した。まだまだオンラインの経験が少ない方が多くあり沢山の方の参加とはなっていないが、会員にも参加機会として情報の発信を進めた。福島との新たな連携手段の一つとして今後も活用していく。

2.7.3 視察研修

コロナ禍により、地元の状況も勘案して見送りした。実施手段は①現地集合・現地解散、②オンラインで実施など、検討を重ねた。検討した内容は次年度へ反映していきたい。

2.7.4 情報発信

総会、勉強会、講演会とオンライン（会場と同時開催を含む）の活用により、結果として従来以上の参加者数の成果も得られた。継続してオンラインを活用して展開していく。

また、今までの現地訪問、活動の写真・動画が沢山ある、当団体の活動紹介、現地に行けない方へ動画の共有なども図り、地元の様子を伝える情報発信を続けていく。

2.7.5 災害支援

台風による被災があったが、何も手を打てなかった。コロナ禍であり、現地での災害復旧支援はできないが、地元で出来ることがある。今後の改善課題とする。

2021 年 3 月 31 日

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

代表 渡辺孝彦／スタッフ一同



3.2021年度活動計画

3 2021年度活動計画（令和3年度）

3.1 福島の問題

東日本大震災から10年である。

必要とされることは、東日本大震災や原子力災害により直接的、間接的に影響を受けた地域の復旧復興を目指し、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等を目指す現地の動きに賛同して「一緒に」活動することである。従来の現地活動だけにとらわれず、現地の人々が始めようとする心の汲み取り、自分の都合を中心にするのではなく、現地の人々に寄り添って活動し、また、災害の教訓を伝え続けることである。

福島を知り、福島を伝え、福島の魅力も伝える。対話で寄り添う。

(福島の避難指示解除の経過は4.1を参照)

3.2 活動方針

はじめに、方針として、当事者の方、個人、行政、団体、企業など様々な方々のそれぞれの立場、環境、想いがあることを知って欲しい。その上で、私達自身ができること、すべきことを考えるきっかけとして頂けたらと考える。

- (1) 2021年度は「会いに行こう」を一つのキーワードに進めていく。
- (2) 2021年度も、コロナ禍にありますが「コロナ禍における活動マニュアル（健康管理、フィジカルディスタンス）」に基づき、出来ることを進めて行く。
- (3) 導入したオンラインを活用して、神奈川県内、福島における活動・情報発信に役立てる。
- (4) 「知る、伝える」、そして「寄り添い」を継続する。
- (5) 役員は2年任期の2年目、変更はない。事業担当も同様である。

ボランティア団体として、以下で活動を進める。

- ・ 活動できる場所であることの判断（安全判断）
- ・ 活動するうえで必要とする知識（安全知識）
- ・ 活動するうえでの現地受入団体の長との情報交換（安全の担保）

現地と情報交換し、現地のニーズを確認したうえで活動を進める。

また、現地とのかかわりは長く続ける。

3.3 活動目的

3.3.1 現地活動

福島県内の復旧復興、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等の一助となるために一緒に汗を流し、つながる。

- (1) 福島県内での各種活動にボランティアとして参加して一緒に汗を流し、つながる。
- (2) 福島県内で開催される交流事業に参加し、一緒に楽しみ、心のつながりを育む。

3.3.2 連携活動

被災・避難当事者のためのつなぎ手となり、他団体や行政との連携を図る。

- (1) 神奈川県や周辺自治体、福島県の団体・行政とのつなぎ手として連携する。
- (2) 被災・避難当事者を支援する活動、交流会・支援会議等に参加する。

3.3.3 視察研修

福島県内の地域を訪問して視察研修を実施し、福島の当時・今・これからの伝えていく。

- (1) 福島の自治体や当事者との信頼関係を醸成したうえで計画、遂行する。
- (2) 視察研修の参加者報告をまとめて報告書とし、情報発信に活用する（伝える）。

3.3.4 情報発信

講演会や勉強会、イベントへの出展等を通じて、福島の実況、生の声を神奈川に伝える。

- (1) 福島から講師を招いて講演会や勉強会を企画し、直接お話を聴く機会を設ける。
- (2) 総会や懇親会と同日開催することで会員の参加を促す。
- (3) 被災地支援や市民活動にかかわるイベント等も活用し広く情報を発信する。

3.3.5 災害復旧支援

国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に緊急対応する。

- (1) 実際の活動については現地の状況に応じて決定する。
- (2) かながわ災害ボランティア活動支援室登録団体としての活動を行い、平時から他団体との情報交換や連携が可能な関係を築く。

3.3.6 維持管理

福島の間団体や個人、行政とのつながりの維持を目的として福島訪問を行う。

3.3.7 その他

有志活動の「美味しいふくしま」を通して福島の食、文化、地域の魅力を伝える。

食べて応援、風評払拭のため、などの大義を掲げて押しつけるのではなく、純粋に美味しさ、楽しさを通じて魅力を感じていただき、日常に取り入れていただけるように情報提供する。

3.4 全体事業計画（概要）

福島活動の 3 つの柱である直接活動（福島県内での活動）、県内活動（神奈川県内での活動）、情報発信を中心とし 5 つの事業とし、以下に活動（事業詳細）を行う。

事業詳細	計画	
《事業 1》 現地活動	計画	毎月 1 便を計画する。 ・現地の方に「会いに行く」をキーワードに可能な活動で進める。 ・現地集合・現地解散、人数を絞ってのレンタカー利用等で進める。 ・現地集合・現地解散の一部旅費交通費は事業費に計上する。
《事業 2》 連携活動	計画	他団体や行政と連携し、被災・避難当事者のつなぎ手となるために、年 4 回まで現地の支援活動、交流会、支援会議等に参加する。 オンライン企画も有効に活用する。
《事業 3》 視察研修	計画	視察研修 8 号。活動と組み合わせての視察や、現地集合・解散で日帰り参加も可能にするなどを検討・立案し行う。福島の当時・今・これからを知る、伝える。動画の記録なども残し活用する。
《事業 4》 情報発信	計画	講演会、勉強会、オンラインイベント等を通じて、福島の現状、生の声を神奈川に伝える。知る機会、伝えることを目的とする。 【勉強会】 6 月、1 回、50 人程度、第 12 回勉強会 【講演会】 1 月、1 回、50 人程度、第 13 回講演会
《事業 5》 災害復旧支援	計画	国内で自然災害等が発生した場合に現地活動に限らず、動ける体制を整える。実際の活動については現地の状況に応じて決定する。 また、平時から他団体との情報交換や連携が可能な関係を築く。
《維持管理》 現地訪問等	計画	福島県内の民間団体、個人、行政とのつながりの維持を目的とした現地訪問を年 3 回、適宜実施する。 視察研修、講演会などの調整は、各事業の計画の中で行う。

(公開・掲示用)

2021.4.1

2021年度事業基本計画

活動の3つの柱である現地活動（福島県内での活動）、連携活動（神奈川県内を含む関東圏での活動）、情報発信（広く一般の方に）を基本として事業を計画する。

事業1：現地活動

福島県内の復旧復興、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等の一助となるために一緒に汗を流し、つながる。

- (1) 福島県内での各種活動にボランティアとして参加して一緒に汗を流し、つながる。
- (2) 福島県内で開催される交流事業に参加し、一緒に楽しみ、心のつながりを育む。

事業2：連携活動

被災・避難当事者のためのつなぎ手となり、他団体や行政との連携を図る。

- (1) 神奈川県や周辺自治体、福島県の団体・行政とのつなぎ手として連携する。
- (2) 被災・避難当事者を支援する活動、交流会・支援会議等に参加する。

事業3：視察研修

福島県内の地域を訪問して視察研修を実施し、福島の当時・今・これからを伝えていく。

- (1) 福島の自治体や当事者との信頼関係を醸成したうえで計画、遂行する。
- (2) 視察研修の参加者報告をまとめて報告書とし、情報発信に活用する（伝える）。

事業4：情報発信

講演会や勉強会、イベントへの出展等を通じて、福島の現状、生の声を神奈川に伝える。

- (1) 福島から講師を招いて講演会や勉強会を企画し、直接お話を聴く機会を設ける。
- (2) 総会や懇親会と同日開催することで会員の参加を促す。
- (3) 被災地支援や市民活動にかかわるイベント等も活用し広く情報を発信する。

事業5：災害復旧支援

国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に緊急対応する。

- (1) 実際の活動については現地の状況に応じて決定する。
- (2) かながわ災害ボランティア活動支援室登録団体としての活動を行い、平時から他団体との情報交換や連携が可能な関係を築く。

維持管理

福島の民間団体や個人、行政とのつながりの維持を目的として福島訪問を行う。

その他

有志活動の「美味しいふくしま」を通して福島の食、文化、地域の魅力を伝える。

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

3.5 事業詳細

3.5.1 《事業1》現地活動

(1) 現地課題

2020年3月14日には、常磐線の全線運行再開に伴い、帰還困難区域のうち双葉駅、大野駅、夜ノ森駅の周辺と一部道路について避難指示が解除された。しかし復旧復興のスピードは一様ではなく、当事者間での格差も生まれている。

一方で、現地の方々や事業者で対応できることは自ら解決する、ある意味で当然とも言える動きもあり、遠方からボランティアに行くこと自体、もう必要ないとの声もある。

この事業では、福島県内の復旧復興、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等の一助となるために、現地で必要とされることをお手伝いする。一時的なボランティア活動ではなく、地域を支える一助となれるよう継続的にかかわっていくことも必要である。

継続的にかかわっていくことも含めて、この10年の福島の方々へ会いに行く。

また、コロナ禍であり、コロナ禍の活動マニュアルに即して活動していく。

(2) 活動目的

福島県内の復旧復興、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等の一助となるために、現地で必要とされることをお手伝いする。

一時的なボランティア活動ではなく、地域を支える一助となれるよう継続的にかかわっていくことも必要であり、毎月一回、現地へ足を運ぶことを継続する。地域とのつながりも醸成する。

(3) 活動計画

(参加者数)

計画	実績
毎月1回、現地活動を計画する。	

(4) 計画予算 (単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	328,200		合計	328,100	
			収支(△繰越)	0	

(補足1) 広域便のレンタカー代は全額 kfop 支払い、他確定額の実費全額は参加者で按分。

(補足2) 現地集合・解散の参加者負担軽減として、コロナ禍の活動マニュアルに即して、一部費用を kfop 事業費に計上する。(電車、バス、自家用車、自家用車に相乗り(最大2名)時に各々の条件の中で kfop 事業費に計上する)

3.5.2 《事業2》連携活動

(1) 課題

帰還困難区域を中心としていまだ避難を余儀なくされている方々もあれば、家族や仕事などのさまざまな事情により避難を継続されている方々もいる。新たな土地に移住して生活を再建された方々の中にも、故郷とのつながりを持ち続けようと望んでいる方がいる。

また、自治体や社会福祉協議会、民間団体等との情報交換、連携も必要な場合がある一方で、東日本大震災から10年目を機に、事業を終了する機関や団体が増えることも予想される。

(2) 活動目的

故郷とのつながりを持ち続けようと望んでいる方々の声に耳を傾け、地域の仲間として共に進んでいく。そのためにも、情報収集に努めながら、当事者や自治体とのつなぎ手として引き続き協力が必要である。

(3) 活動計画

(参加者数)

計画	実績
被災・避難当事者のためのつなぎ手となり、他団体や行政との連携を図る。また、被災・避難当事者を支援する活動、交流会・支援会議等に参加する。	/

(4) 計画予算

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	80,000	/	合計	80,000	/
			収支(△繰越)	0	/

3.5.3 《事業3》視察研修

(1) 課題

2020年3月14日には、常磐線の全線運行再開となり、帰還困難区域のうち双葉駅、大野駅、夜ノ森駅の周辺と一部道路について避難指示が解除された。6号線も家屋の取り壊しが進んでおり、街並みは変貌して来ている。中間貯蔵施設により故郷が大きく変貌している。

福島に行って、見て、聴いて、様々な当事者の方の声を聴き残していく必要がある。

福島に関わるものは、最低限、知ってほしい。知っておくべきことである。

(2) 活動目的

福島にかかわり活動する者として現地の最新の状況を学び、伝えていく必要がある。現地を訪れて、自分の目、耳、体でまず感じる。そして、その上で現地の今を神奈川に伝える。

(3) 活動計画

コロナ禍であり、現地活動、情報発信などを含めて、視察研修の規模や形式も活動と組み合わせた視察や、現地集合・解散で日帰り、オンライン参加も可能にするなど検討・立案を進める。年1回実施する。

(参加者数)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

計画	実績
信頼関係を醸成しながら計画する。同時に、参加者の負担減や参加しやすさも模索する。	

(4) 計画予算 (単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	235,000		合計	235,000	
			収支(△繰越)	0	

(補足 1) 視察研修便は全額参加者負担、宿泊代等も参加者が直接支払う。

3.5.4 《事業 4》情報発信（講演会等）

(1) 課題

東日本大震災、福島県の原子力被災から 10 年である。避難指示の解除も段階的に進み、顕著な変化が見られるが、復旧復興のスピードは一様ではなく、多くの課題が残っている。しかし 3 月にはメディアの報道が増えるが、それ以外の時期は、一般の方々の関心も薄れ、現状が伝わらない。私たち福島県外に住む者は、関心を薄れさせることなく、福島について知って、学ぶことを続けることが大切である。対話も学ぶ必要がある。また、コロナ禍の情報発信として、オンラインは有効な手段である、引き続き活用していく。

(2) 活動目的

福島にかかわり応援する者として現地の状況と課題を知り、伝える必要がある。それには、被災当事者の方や現地で活動している方、福島にかかわっている方をお招きし、生の声を神奈川に伝えるのが効果的である。現地の方を招き講演会などを継続し、神奈川に福島を伝えていく。

(3) 活動計画 (参加者数)

計画	実績
講演会、勉強会（年に 2 回、上期に勉強会、下期に講演会）を通じて現状を伝え、理解を深める。また会および懇親会も含めオンラインを活用する。被災地支援や市民活動にかかわるイベント等も広く情報を発信する。	

(4) 計画予算 (単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	418,000		合計	418,000	
			収支(△繰越)	0	

(補足 1) 講師招致費、講師調整の打ち合わせ等の旅費交通費も含む。

3.5.5 《事業 5》災害復旧支援

(1) 課題

コロナ禍で規模を問わず自然災害発生した時に、支援が出来る体制が必要である。

神奈川に居ての支援、現地に行ける時の支援、など日ごろからの備えが必要。

また、平時から顔の見える関係を築き、情報交換と連携ができるようにしておかなければ、いざというときにバランスよく支援が行えるための体制づくりが必要である。

(2) 活動目的

国内で自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に対応することを事業として明確にし、体制づくりをする。実際の活動については神奈川に居て、現地に行ってなど状況に応じて決定する。かながわ災害ボランティア活動支援室登録団体としての活動を行い、平時から他団体との情報交換や連携が可能な関係を築いていく。

(3) 活動計画

(参加者数)

計画	実績
災害への備え、平時から他団体との情報交換を行える体制作り。予算は現地費用に限らず。	/

(4) 計画予算

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	100,000	/	合計	100,000	/
			収支(△繰越)	0	/

3.5.6 《維持管理》

(1) 課題

各事業を企画運営するうえで、福島県内の行政、社会福祉協議会、民間団体等との連携は不可欠である。担当者の異動や交代なども考慮して、定期的な訪問でつながりを維持することが重要である。また、当団体の維持（定例会議場、webアルバム、zoom契約費用等）も必要。

(2) 活動目的

年3回は主に維持管理目的で訪問する。他2回は各事業の計画で訪問する。

また、定例会議場、webアルバム、zoom契約費用等、維持管理全般を目的とする。

(3) 活動計画

(参加者数)

計画	実績
維持目的 の年3回の訪問費用 団体維持の会場費、webアルバム、zoom契約費、印刷費等の維持管理費全般	/

(4) 計画予算

(単位：円)

収入	計画予算	実績	支出	計画予算	実績
合計	556,490	/	合計	556,490	/
			収支(△繰越)	0	/

3.5.7 《関連事業》

有志活動である「美味しいふくしま」を継続する。



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

3.5.8 事業予算 (期初計画)

(1) 活動計算書



活動計算書

かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

2021年4月1日 ~ 2022年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額					
	計画 金額(小計)	実績 金額(小計)	計画 金額(中計)	実績 金額(中計)	計画 金額(合計)	実績 金額(合計)
I 経常収益						
1. 受取会費						
受取会費	102,000	0	102,000	0		
2. 受取寄付金						
受取寄付金(一般)	200,000	0				
受取寄付金(目的)	0	0	200,000	0		
3. 受取支援金等(寄付)						
受取民間支援金1	200,000	0				
受取民間支援金2	100,000	0	300,000	0		
4. 事業収益						
事業1収益		0				
事業2収益		0				
事業3収益		0				
事業4収益		0				
事業5収益	0	0				
(未使用)		0				
(未使用)		0				
(未使用)		0				
(未使用)		0				
維持収益		0	0	0		
5. その他収益						
受取利息		0	0	0		
経常収益計					602,000	0
II 経常費用						
1. 事業費						
(1)人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
事業支払負担金	0	0				
事業諸謝金	60,000	0				
事業源泉徴収額	8,000	0				
事業印刷製本費	30,000	0				
事業会議費	95,000	0				
事業旅費交通費	668,200	0				
事業通信運搬費	0	0				
事業消耗品費	0	0				
事業保険料	0	0				
事業支払手数料	0	0				
事業支払寄付金	0	0				
事業諸会費	0	0				
事業雑費	300,000	0				
その他経費計	1,161,200	0				
事業費計			1,161,200	0		
2. 管理費						
(1)人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
管理支払負担金	0	0				
管理印刷製本費	48,000	0				
管理会議費	90,000	0				
管理旅費交通費	135,000	0				
管理通信運搬費	7,500	0				
管理消耗品費	0	0				
管理保険料	0	0				
管理支払手数料	0	0				
管理支払寄付金	0	0				
管理諸会費	34,200	0				
管理雑費	241,790	0				
その他経費計	556,490	0				
管理費計			556,490	0		
経常費用計					1,717,690	0
当期正味財産増減額					-1,115,690	0
前期繰越正味財産額					1,115,690	1,115,690
次期繰越正味財産額					0	1,115,690

(2021年4月1日 現在)



(2) 貸借対照表

貸借対照表



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

2021年4月1日 ~ 2022年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
横浜BK会費口	1,115,690	
横浜BK寄付口	0	
仮払金	0	
流動資産合計		1,115,690
2. 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		1,115,690
II 負債の部		
1. 流動負債		
仮受金	0	
前受金	0	
未払金	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
役員借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		1,115,690
当期正味財産増減額		0
正味財産合計		1,115,690
負債及び正味財産合計		1,115,690

(2021年4月1日 現在)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

(3) 財務諸表の注記

財務諸表の注記



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

(会計期間 : 2021年4月1日 ~ 2022年3月31日まで)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。
 資産は、口座預金(会費口、寄付口)のみ、固定資産なし。借入等の負債なし(前受、仮受を除く)

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	事業1 現地活動	事業2 連携活動	事業3 視察研修	事業4 情報発信	事業5 災害支援	事業 部門計	維持管理	合計
I 経常収益								
① 1. 受取会費(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画	0	0	0	0	0	0	102,000	102,000
② 2. 受取寄付金(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画	0	0	50,000	50,000	100,000	200,000	0	200,000
③ 3. 受取支援金等	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画	0	0	70,000	230,000	0	300,000	0	300,000
④ 4. 受取目的寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0
(※2助成金)【事業計画	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 事業収益(参加費)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 6. 前期繰越金(寄付)	291,159	80,000	115,000	138,000	0	624,159	448,404	1,072,563
7. 前期繰越金(目的)	37,041	0	0	0	0	37,041	6,086	43,127
8. 前期繰越金(会費)	0	0	0	0	0	0	0	0
9. その他収益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	328,200	80,000	115,000	138,000	0	661,200	454,490	1,115,690
【事業計画計	328,200	80,000	235,000	418,000	100,000	1,161,200	556,490	1,717,690
II 経常費用								
(1)人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)その他経費								
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0
源泉徴収額	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0
車両費	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	328,200	80,000	115,000	138,000	0	661,200	454,490	1,115,690

(※1:表示項目の金額は寄付口から会費口(事業用口座)へ振替額または予定額を示す。)

3. 目的寄付・支援金の内訳 「(限定)は使途制限ありの目的寄付・助成金等」

内容	期首残高	当期 増加額	当期 減少額	期末残高	備考
(限定)Zoom利用費用	6,086	0	0	6,086	
受取支援金1 (申請:200,000円)計画	37,041	0	0	37,041	
受取支援金2 (申請:100,000円)計画	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
合計	43,127	0	0	43,127	

(2021年4月1日 現在)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

(4) 財務諸表の注記 (補助簿)

財務諸表の注記(補助簿)「目的別寄付、支援金(計画・実績)」



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

(会計期間 : 2021年4月1日 ~ 2022年3月31日まで)

目的別寄付 (計画・実績)						
収入			支出			
費目	計画	実績	費目	計画	実績	詳細(実績)
Zoom利用費用	6,086	6,086	維持:Zoom利用料	6,086	0	前年度繰越金
合計	6,086	6,086	合計	6,086	0	
	収支			0	6,086	

支援金1 (計画・実績)						
収入			支出			
費目	計画	実績	費目	計画	実績	詳細(実績)
受取支援金1	37,041	37,041		37,041		前年度繰越金
合計	37,041	37,041	合計	37,041	0	
	収支			0	37,041	

支援金2 (計画・実績)						
収入			支出			
費目	計画	実績	費目	計画	実績	詳細(実績)
受取支援金2						
合計	0	0	合計	0	0	
	収支			0	0	

助成金 (計画・実績)						
収入			支出			
費目	計画	実績	費目	計画	実績	詳細(実績)
助成金 (災害発生時に申請計画額)						
合計	0	0	合計	0	0	
	収支			0	0	

(2021年4月1日 現在)

3.6 2021年度の役員・スタッフ

3.6.1 役員・スタッフ

区分	役割	氏名	兼務等	
役員	代表	渡辺 孝彦	重任	兼 会計、渉外、あゆむ会副理事長
	広報	東 尚子	重任	
		村上 幸	重任	
		私市 慎治	重任	
		長崎 羊子	重任	
監事		平野香誉子	重任	監事（業務監査、会計監査）
		—	—	—
協力スタッフ (敬称略) 18人		森本健、矢島國紀、池田学、荒川朱美、森田清、北田美代子、岡村恭子、岩崎眞澄、柿木都、山下潔、田村武司、後藤民夫、小村清一、長田剛、福田光、武田恒男、橋本洋子、木幡四郎、		

(説明1) 役員任期は2年(2020年度総会～2022年度総会迄)で継続。

(説明2) 協力スタッフ：会員に限らず都合の着く時に事業に協力していただける方

3.6.2 事業担当

事業	事業名	主担当	
事業1	現地活動	役員	渡辺孝彦, 東 尚子
		協力	1-3:後藤民夫, 小村清一, 池田学, 長田剛, 福田光, 北田美代子
事業2	連携活動	役員	東 尚子, 渡辺孝彦, 長崎羊子
		協力	2-2:矢島國紀
事業3	視察研修	役員	渡辺孝彦, 東 尚子
		協力	3-1:北田美代子, 矢島國紀
事業4	情報発信	役員	東 尚子, 渡辺孝彦, 村上 幸
		協力	4-1:森本健, 矢島國紀, 北田美代子, 岡村恭子, 柿木都, 岩崎眞澄, 田村武司, 4-3:矢島國紀
事業5	災害復旧支援	役員	村上 幸, 私市慎治
		協力	5-1:池田学, 荒川朱美, 5-2:矢島國紀 5-3:森田清
維持管理	維持管理	役員	渡辺孝彦, 東 尚子
		協力	6-1:森本健
(関連事業)	美味しいふくしま	役員	村上 幸, 東 尚子
		協力	7-1:岡村恭子, 山下潔, 武田恒男, 橋本洋子, 木幡四郎

(説明) 協力：会員に限らず都合の着く時に事業に協力していただける「協力スタッフ」



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

≪事業毎に協力していただきたい内容は異なります≫

- 【事業1】 1-1【現地活動】現地活動リーダー
- 1-2【現地活動】活動報告作成（アンケート集計、活動報告、写真など）
- 1-3【現地活動】運転スタッフ（安全運転の前提）
- 【事業2】 2-1【連携活動】広域避難関係の交流会、勉強会、講演会出席など
- 2-2【連携活動】災害等の連携活動（会議出席、情報連携など）
- 【事業3】 3-1【視察研修】視察研修報告の文章起こし（word）
- 【事業4】 4-1【情報発信】情報発信全般の企画、運営
- 4-2【情報発信】勉強会・講演会の企画、運営、報告書作成
- 4-3【情報発信】市民活動フェアの企画、運営、報告書作成
- 【事業5】 5-1【災害復旧支援】災害復旧支援の全般（企画、運営、報告など）
- 5-2【災害復旧支援】災害情報収集&情報発信（メール,HP,FB など）
- 5-3【災害復旧支援】助成金申請～報告までの手続き
- 【維持管理】 6-1【維持管理】Webアルバム保存
- 【美味しいふくしま】
- 7-1【美味しいふくしま】調理担当、飲み物コーナー担当、写真

3.6.3 2021年度の会員状況（2021.05.06時点）

（単位：人）

区分		総人数	女性	男性
正会員	0/A	38名(-6)	14名(-3)	24名(-3)
一般会員	1	121名(±0)	43名(±0)	78名(±0)
賛助会員	2	17名(+6)	8名(+3)	9名(+3)
情報発信	8	23名(±0)	10名(±0)	13名(±0)
参加登録	9	90名(±0)	35名(±0)	55名(±0)
合計		289名(±0)	110名(±0)	179名(±0)

（補足）（）内は前年度2021年3月31日対比

3.7 最後に

当団体は、2021年度も活動を進めます。

信頼関係を築きながら長期的にかかわることを前提とし、福島の方々とのつながりを育み、維持することを目指します。

福島環境は絶えず変わっていきます。今では私たち以上に元気と笑顔が福島にあふれています。支援、応援という目線ではなく、相手に共感しながらかかわることが求められているのが現在です。このような変化は私たちも肌で感じています。

当団体は「福島応援」を掲げて活動を続けていますが、応援の意味するところは「一緒に」ということです。友人・仲間として受け入れていただくことは簡単ではありませんが、それでも神奈川から福島へ足を運び続けたい。

福島の現地に、そして、神奈川に避難を余儀なくされている方々が必要とされることに対し、少しでもお手伝いさせていただければと考えています。

福島の元気に！
福島の笑顔に！
福島を伝える！
福島に長くかかわる！
福島に会いに行く！

私たちは、無理をして活動を続けているのではなく、福島に行きたいから行く。
元気に、明るく、楽しく参加者と活動を続けていきます。
福島を応援し、一緒に汗を流し、共感し、かかわり続けます。

2021年度もよろしくお祈りします。

2021年4月1日
かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
代表 渡辺孝彦／スタッフ一同

4 補足資料

4.1 福島避難指示解除の経過

東日本大震災からの避難指示解除の経過は以下のとおりである。

田村市	2014年4月01日 (H26) 解除 (都路地区)
川内村	2014年10月1日 (H26) 避難指示解除準備区域 (東部) を解除 2016年6月14日 (H28) 区域見直し後の全域を解除
檜葉町	2015年9月05日 (H27) 解除
南相馬市	2016年7月12日 (H28) 帰還困難区域を除き解除 (主に小高区)
双葉郡葛尾村	2016年6月12日 (H28) 帰還困難区域を除き解除
相馬郡飯舘村	2017年3月31日 (H29) 帰還困難区域を除き解除
双葉郡川俣町	2017年3月31日 (H29) 解除 (山木屋地区)
双葉郡浪江町	2017年3月31日 (H29) 帰還困難区域を除き解除
双葉郡富岡町	2017年4月01日 (H29) 帰還困難区域を除き解除 2020年3月05日 (R02) 帰還困難区域の一部 (夜ノ森駅周辺) を解除
双葉郡大熊町	2019年4月10日 (H31) 帰還困難区域を除き解除 2020年3月05日 (R02) 帰還困難区域の一部 (大野駅周辺) を解除
双葉郡双葉町	2020年3月04日 (R02) 避難指示解除準備区域と双葉駅周辺を解除

現地で必要とされることは、東日本大震災や原子力災害により直接的、間接的に影響を受けた地域の復旧復興を目指し、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等を目指す現地の動きに賛同して「一緒に」活動することである。従来の現地活動だけにとらわれず、現地の人々が始めようとする心の汲み取り、自分の都合を中心にするのではなく、現地の人々に寄り添って活動し、また、災害の教訓を伝え続けることである。

4.2 活動様子（年度毎、事業毎の記録・写真）

4.2.1 2011年度の活動様子

～これは震災後初期の“渡辺個人”の活動記録（参考まで）～

(1) 活動日

2011.5.5（木）終日～6（金）午前

(2) 被災地(折戸地区)

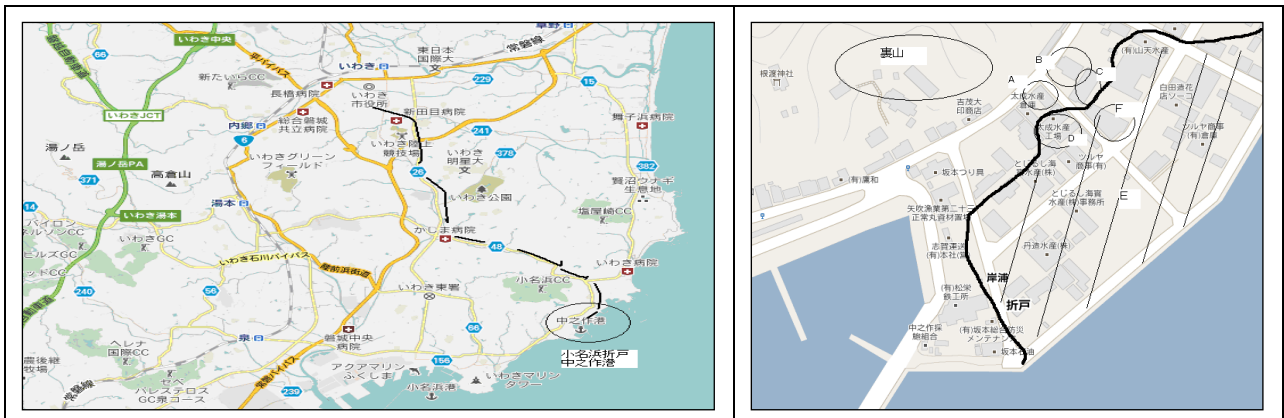
いわき市災害救援ボランティアセンター

運営：いわき市社会福祉協議会

住所：いわき市平字菱川町1番地の3 いわき市社会福祉センター1階

(3) 地図

被災地：小名浜折戸地区（中之作港脇）＜いわき市から車で約30分＞



(4) 被災状況

海岸から裏山まで約200M、ほぼ全域が被災

A：ボランティア依頼被災者宅（床上浸水、半壊、D工場が壁になった）

B：Aさんの息子宅（無傷、C病院が壁になった、息子：福島空港勤務 孫：千葉（GWで帰郷））

C：病院（半壊、一階は使用不能、病院は休業中）

D：工場は全壊

F：家が跡形もなく全壊（二人亡くなられた）

E：この一体がほぼ壊滅状態（いわき市に避難中）、重機で撤去し道は通れるようになった。被災し潰れた車はそのまま、流された家のがれきは大分片付いた。

■1ヶ月以上経ってのGWようやく地区に入れ片付けがはじめられたとのこと。

■今後のお住まいは、ご両親（A）が息子さんのB宅に住まわれる息子さんは須賀川の勤務先借家（福島空港）

■A宅は、住めるかは分からないが、畳を上げ片付中

■下水は使えず、お風呂はBの裏手の方にある兄弟宅で入っている

■支援時はA（ご両親人）、B（息子、孫）、親戚（兄弟宅）の3家族5人で片づけをされていた。

(5) 活動状況

【支援事前】

09：30 ボランティアセンターに到着し受付（センター5Fで）



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
《2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画》

- 09:40 ボランティア名簿一覧に記載し待機室へ入室
09:45 待機室で詳細資料の記載（血液、免許有無、特技、緊急連絡先、車提供可否など）
10:00 ボランティア事前説明会（個人情報管理、他諸注意事項）、約15分
10:30 ボランティアマッチング（支援依頼と支援者のマッチング、車提供）

【支援開始】

- 11:00 支援メンバー・支援宅・リーダー決め（車運転者は除く）・資材決定し移動準備・移動。支援先、内容（Aさん宅の敷地回りの側溝と通路の確保（約25m位））
車2台、メンバー8名（内4名は12:30で引き上げ）で移動開始、約30分かかる
11:30 到着車、ご挨拶と早速作業開始
12:30 名引き上げ、追加要請した後発5名到着
12:30 昼食
12:40 作業再開
13:50 休憩
14:00 作業再開
15:00 大方目処が付いた、後片付け
15:30 引き上げ

【支援終了】

- 16:00 ボランティアセンターへ到着、報告を作成し解散（4時センター到着がル

【当日支援者数・状況】

- ・参加者：400名
- ・天気：曇り（作業には丁度良かった天気）
- ・ボランティアマッチング待ち時間：約30分（全体待ちは約1時間）
- ・持ち物：スコップ、軍手、厚手の手袋、ゴム手袋、水、昼食、かっぱ、防塵マスク
- ・服装：作業着（本当の作業着）、長靴（金具の灰居たもの）、リュック（貴重品）
- ・車：移動に提供、4人ずつで相乗り（地図、ナビで移動）

【支援メンバー】

-----午前で終了メンバー-----

- ・岐阜の若者：二人で、車、大分慣れた感じ、一泊2日、2日目は午前で終了。てきぱきこなして作業していた。段取りが良い。（午前で終わり）
- ・会津の親子：お母さんと息子、医者とのこと、日帰り（午前で終わり）。実質30分程しか出来なかった。残念がっていた。

-----終日メンバー-----

- ・東京の主婦：一人で、三泊四日（5千円の宿、宿は20cmほど敷地が沈下）リーダー役をした。サバイバルナイフでハムを食べてた。慣れてた。
- ・大阪の学生：一人で大阪から電車に来てホテルに三泊（8千円×三日）。少々頼りなかったが、今しか来れないと、中々。
- ・いわき市の主婦：地元ではないが被災していないのでと、支援に（二泊位の様子）。活動的ではなく、口数も少なかった。

-----午後メンバー-----

- ・千葉の若者？（30歳～40歳位）：実家は栃木か茨城とか、食べ物を沢山持ってきた、パワフル。後発支援組み、電車で来た。小さいスコップ持参（側溝に役立った）
- ・町田の女性：電車で、力持ち、一人で一輪車に土嚢を積んで、集積場所に黙々と作業。無理するなと言うと、大丈夫！と、被災された方が一緒に手伝った。
- ・地元の若者：高校出たばかり（いわき市の工業高校）の元ラグビー部の頼りになる二人連れ。学生かと思ったと言ったら、ほめられたのか？とスコップでの泥かき出しは一番仕事してくれた。元気良かった。GW期間中毎日来ている、と。

【作業内容】

- ・埋まった側溝：側溝の上の、がれき・ガラス・石・ブロックの撤去（匂いがすごい）
- ・側溝の上の土出し：がれきが片付いたら、側溝が見えるように上の泥かき（重労働）
- ・側溝の泥かき：水が流れるように、綺麗に。角型スコップが入らず（重労働）
- ・私道の泥かき：側溝両脇を歩けるように、泥かき・整地（土建仕事）
- ・土嚢の搬出：集積場へ一輪車で（土嚢、がれき、割れ物などなど）
- ・後片付け：周りをきれいにして掃除
- ・最終確認：依頼された方へ作業場所を見ていただいて、了解を受け終わり
- ・引き上げ：メンバー（怪我がないか）、資材の点検（忘れ物はないか）し引き上げ

(6) 状況と所感

- ・高速道路は5月5日GWのはざまと言うこともあって、横浜町田からいわき中央まで渋滞もなくすいすいで行けた。料金も休日料金（5月6日平日も料金は休日料金）。
- ・常磐道の北茨城・日立あたりから道路状況が悪くなった。修理箇所とか多くあり、特に橋の所の段差があり、100k/時以上出していると車はジャンプする。
- ・同じく、途中から瓦の落ちた家が散見されるようになった。
- ・いわき市まで大体4時間で着いた。駅近くの街中もビルは地番沈下、古い家は倒壊が散見。
- ・市役所の駐車場に付き、SVCへ移動、途中のいわき文化交流館に居た人に道を尋ねたら小名浜からの避難者家族だった。
- ・SVCでの事前の説明会では地元のスタッフが色々説明、標準語のつもりだが、ふくしま弁で言葉が分からなかったら質問して、と一応笑いを獲っていた。
- ・マッチングの待ち時間が意外と長かった、次々に支援者が増えて着た。マッチングで、xxの仕事とスタッフが言うが、実際はなかなか手が挙がらない泥かきは一度すると中々大変な感じ。
- ・支援先、メンバーが決まり、リーダー役決め（緊急連絡があるので運転手以外）
- ・メンバーとは車で移動の30分の中でコミュニケーションが取れた（何処から、何時までとか）
- ・作業の途中までは、被災者の方は中々近寄らずに居たが、親戚のおじさんが入り、B宅の主人・孫が入りと、みんなで片づけを進めた。多分見ていられなかったのだろう。
- ・親戚のおじさんは、お孫さんに白髪のおじさん（私のこと）より力がないな一と、笑わせた。
- ・休憩中にその親戚のおじさんに湾を案内して頂いた、昔は多くの漁師さんがいたが200海里問題で廃業せざるを得なくなった人が多く居た、と。良い海なんだがな一、原発もな一、と。がれきもどこも引き取ってくれないから、一ヶ月経っても変わらない。家族だけで綺麗にするのは無理、助かったと。綺麗になったら、釣りに来てくれと言われた。
- ・5月6日の朝2時頃に震度5弱の地震、ホテルが“ゆっさゆっさ”とゆれ、倒れるかと思った。ホテルもまだ修理途中。その後も続いて、作業で体は痛いし、魚の腐った匂いは鼻・服に付き、寝不足だし。5月6日は挨拶をして早めの帰宅となった。
- ・GWが明け、人数が100人程に落ちた（ピークは千人位）とのこと。
- ・行ってみて分かること（被災者、支援者、スタッフ、避難者、町の人、街）が多い。

～渡辺～

4.2.2 2011年度の活動様子（福島応援隊）※kfopの任意団体設立の前身活動です。

 <p>20111029 福島応援隊#1 大波地区分校</p>	 <p>20111029 福島応援隊#1 分校の落ち葉の片付け</p>	 <p>20111029 福島応援隊#1 地区長さん</p>
 <p>20111112 福島応援隊#2-1 集会場（集合場所）</p>	 <p>20111112 福島応援隊#2-2 大波地区（民家の客土）</p>	 <p>20111112 福島応援隊#2-3 大波地区（民家の客土）</p>
 <p>20111126 福島応援隊#3-1 福島市危機管理室</p>	 <p>20111126 福島応援隊#3-3 大波小学校（その後廃校）</p>	 <p>20111126 福島応援隊#3-4 大波地区の民家</p>
 <p>20111210 福島応援隊#4-1 作業の説明（菅野さん）</p>	 <p>20111210 福島応援隊#4-2 福島市社協さんと大波地区</p>	 <p>20111210 福島応援隊#4-3 大波地区、3t分</p>

4.2.3 2012年度の活動様子



20120414-1 福島 1 便
 弁天山公園へ



20120414-2 福島 1 便
 集合・説明



20120414-2 福島 1 便
 福島市危機管理室、菅野さん



20120519-1 福島 2 便
 安達太良 SA から安達太良山



20120519-2 福島 2 便
 大波城址公園 (ひまわり畑)



20120609-1
 大波城址公園 (ひまわり播種)



20120609-2
 地区の方のお話 (ひまわり播種)



20120802 ふるさとコミュニティ in
 かながわ (第1回)



20120825 福島 5 便
 南相馬初回 (鹿島区社協)



20120901
 なみえしゃぼりば (馬場町長)



20120910 町別交流会
 (富岡町 1 回目)



20120921 福島 6 便
 南相馬市小高区塚原地区



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫



20120921 福島 6 便
 (南相馬市小高区塚原地区)



20121008 町別交流会
 (-双葉町 1 回目)



20121013 会津避難先にて
 (大熊町、大野・熊川)



20121017 町別交流会
 (大熊町 1 回目)



20121109 町別交流会
 (楡葉町 1 回目)



20130223 福島 12 便
 (花に願いを 1 号：街中掃除)

4.2.4 2013 年度の活動様子



20130420 福島 13 便
 (花見山 1 号)



20130420 福島 13 便
 (花見山 1 号：阿部さん宅)



20130518 福島 14 便
 (花に願いを 2 号：街中掃除)



20130728 水害支援
 (西伊豆 1 号 kfop バス)



20130810 いわき・福島へ
 (ふるさとバス 1 号)



20130810 いわき・福島へ
 (ふるさとバス 1 号見送り)

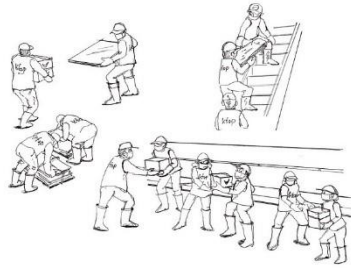
 <p>20130824 福島 17 便 (花に願いを5号)</p>	 <p>20130824 町別交流会 (浪江町 1 回目)</p>	 <p>20130907 福特 2 便 (南相馬 3 号)</p>
 <p>20131214 福島 21 便 (花に願いを：街中掃除)</p>	 <p>20140222-1352 福特 7 便 (南相馬市小高区)</p>	 <p>20140222-1352 福特 7 便 (南相馬市小高区)</p>
 <p>20140321 福德 8 便 (南相馬市小高区)</p>	 <p>20140321 福德 8 便 (南相馬市小高区)</p>	 <p>20140321 福德 8 便 (南相馬市小高区)</p>

4.2.5 2014 年度の活動様子

 <p>20140412 福島 35 号 (花見山 2 号：茶屋沼公園)</p>	 <p>20140412 福島 35 号 (花見山 2 号：花見山)</p>	 <p>20140412 福島 35 号 (花見山 2 号：阿部さん宅)</p>
--	---	--



20140524-福島 37 便
 (南相馬 12 号)



20140524-福島 37 便
 (南相馬 12 号)



20140524-福島 37 便
 (南相馬 12 号)



20140628-福島 39 便
 (南相馬 13 号)



20140824 福島 41 便
 (南相馬 15 号)



20140908 かながわ
 (丹波水害支援)



20140914 ふるコミ 5



20141025-福島 43 便
 (南相馬 1 7 号)



20141213-福島 45 便
 (南相馬 19 号)



20141213-福島 45 便
 (南相馬 19 号)



20150310 感謝状贈呈
 (シティアクセス株式会社様へ)



20150330 感謝状贈呈 (一般財団法人
 神奈川県建築安全協会様へ)

4.2.6 2015年度の活動様子



20150411 福島 48 便
 (富岡町視察研修：夜の森)



20150411 福島 48 便
 (富岡町視察研修：減容施設)



20150411 福島 48 便
 (富岡町視察研修：学びの森)



20150411 福島 48 便
 (富岡町視察研修：遺構)



20150411 福島 48 便
 (富岡町視察研修：学びの森)



20150425 福島 49 便
 (南相馬市)



20150523 福島 50 便
 (金房ボラセン前)



20150523 福島 50 便
 (萱浜)



20150523 福島 50 便
 (塚原)



20150803 復興バー



20150808 福島 53 便



20151013-訪問



20151016 川内村
 (有志1号)



20151024-25 福島56
 (視察研修：大熊町)



20151024-25 福島56
 (視察研修：大熊)



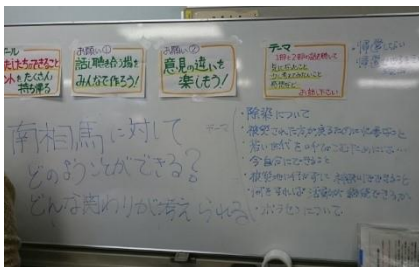
20151212 福島58便
 (南相馬29号/ひまわりカフェ)



20160109 講演会
 (鈴木センター長)



20160109 講演会
 (村田小高区長)



20160109 講演会
 (講演会後の勉強会)



20160227-1 福島59便
 (南相馬市小高区)



2016-02-26-67 福島59便
 (南相馬30号)



20160321
 市民活動フェア



20160321
 双葉郡未来会議



2016-03-25-26 福島60便
 (南相馬31号)

4.2.7 2016年度の活動様子



【事業1】小高区ボラバス



【事業2】相双ボラ参加



【事業2】川内村ブドウ植栽ボラ



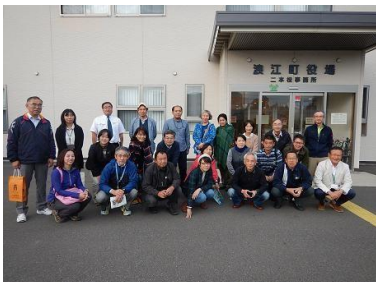
【事業4】双葉郡未来会議参加



【事業4】ふるさと未来創造会議参加



【事業5】双葉町視察研修便



【事業5】浪江町視察研修便



【事業6】第2回講演会



【事業6】第3回講演会



【事業7】2017市民活動フェア



【有志活動】相馬野馬追観戦



【有志活動】美味しい福島伝え隊

4.2.8 2017年度の活動様子



20170408 川内村ブドウ植栽(初回)



20170708-復興バー@銀座



20170722 福島 75 便(南相馬 44 号)



20170826 福島 76 便(南相馬 45 号)



20171007 福島 83 便(葛尾村 01 号)



20171014 福島 78 便(視察研修 5)



20171014 福島 78 便(視研修 5 号)



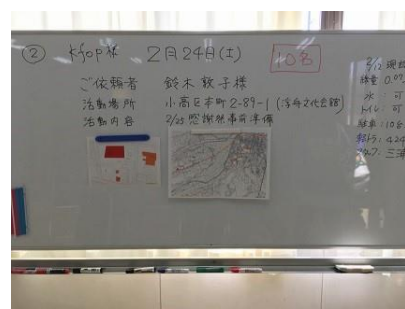
20171015 福島 78 便(視察研修 5 号)



20171216-17 川内村ワイン



20180120 講演会



20180224 福島 81 便(南相馬 49 号)



20180225 福島 81 便(南相馬 49 号)

4.2.9 2018年度の活動様子

【事業1：現地活動】（浪江町）

		
<p>20180421 福島 86 便(浪江町 03 号)</p>	<p>20180421 福島 86 便(浪江町 03 号)</p>	<p>20180519 福島 87 便(浪江町 04 号)</p>
		
<p>20180609 福島 88 便(浪江町 05 号)</p>	<p>20180609 福島 88 便(浪江町 05 号)</p>	<p>20180721 福島 89 便(浪江町 06 号)</p>
		
<p>20180825 福島 90 便(浪江町 07 号)</p>	<p>20180922 福島 91 便(浪江町 08 号)</p>	<p>20181020 福島 92 便(相双ボラ 01)</p>
		
<p>20181020 福島 92 便(相双ボラ 01)</p>	<p>20181124 福島 95 便(浪江町 10 号)</p>	<p>20181208-2 福島 95 便(浪江町 11 号)</p>

【事業1：現地活動】 (川内村)



20180411 福島 99 便 (川内村 02 号)



20180414 福島 99 便 (川内村 02 号)



20181215 福島 102 便 (川内村 04 号)



20181216 福島 102 便 (川内村 04 号)



20190330 福島 98 便 (川内村 05 号)



20190331 福島 98 便 (川内村 05 号)

【事業1：現地活動】 (葛尾村)



20180626 福島 100 便
 (葛尾村 02 号・川内村 03 号)



20180626 福島 100 便
 (葛尾村 02 号・川内村 03 号)



20181008 福島 101 便 (葛尾村 03 号)



20190525 福島 104 便
 (葛尾村 04 号/川内村 07 号)

【事業2：連携活動】



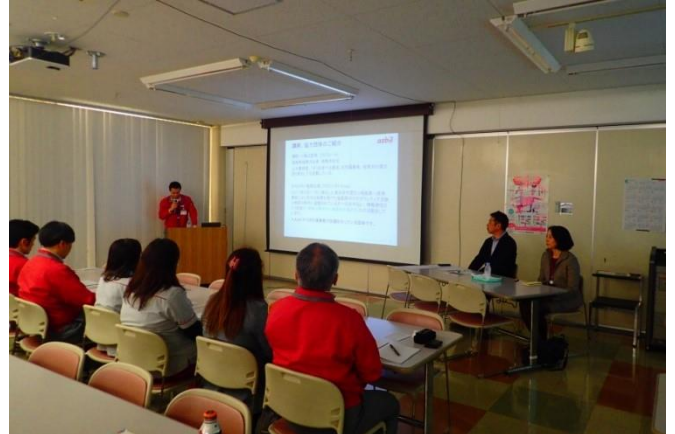
20181102 葛尾の新米



20190322 葛尾村



20190328azbil 防災企画



20190328azbil 防災企画

【事業3：視察研修】



20190216 福島 93 便 (視察研修 6 号)



20190216-2 福島 93 便 (視察研修 6 号)



20190217 福島 93 便 (視察研修 6 号)



20190217 福島 93 便 (視察研修 6 号)

【事業4：情報発信】



20180623 総会



20180623 勉強会



20190117 第7回講演会 (小幡広宣さん)



20190117 第7回講演会 (小幡広宣さん)

【維持管理】現地訪問など



20180529 福島訪問1 (ふたすけ)



20180907 福島訪問2 (新地町)



20181111 福島訪問3 (相馬市、小幡さん)



20190322 福島訪問4 (ふたばいんふお)

【その他】有志活動など



20180729 有志便 (2018 相馬野馬追)



20180820 美味しいふくしま伝え隊



20181118 『新地町の漁師たち』横浜上映会



20181118 『新地町の漁師たち』横浜上映会

4.2.10 2019年度の活動様子



20190420 福島 103 便
 (川内村 06 号)



20190526 福島 104 便
 (葛尾村)



20190615
 第 8 回勉強会



20190629 福島 107 便
 (ビーチクリーン)



20190629 福島 107 便
 (ビーチクリーン)



20190824 福島 108 便
 (川内村 08 号)



20190824 福島 108 便
 (川内村 08 号)



20191102 福島 113 便
 (台風 19 号復旧支援 1 号)
 南相馬市原町区



20191103 福島 113 便
 (台風 19 号復旧支援 1 号)
 本宮市社協



20191103 福島 113 便
 (台風 19 号復旧支援 1 号)



20191105 福島 112 便
 (双葉ワールド)



20191105 福島 112 便
 (双葉ワールド)



20191105 福島 112 便
 (葛尾村 05 号)



20191105 福島 112 便
 (葛尾村 05 号)



20191105 福島 112 便
 (地元のお母さん)



20191105 福島 112 便
 (田圃のご主人)



20191105 福島 112 便
 (稲刈り参加)



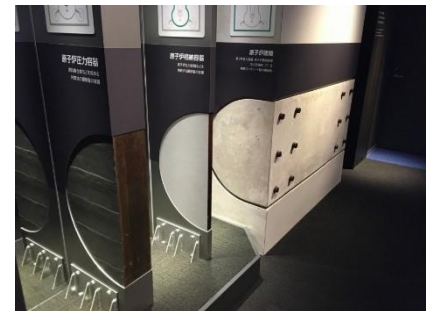
20191105 福島 112 便
 (設営手伝い)



20191116 福島 114 便
 (視察研修 7 号 : 富岡町)



20191116 福島 114 便
 (視察研修 7 号・富岡町)



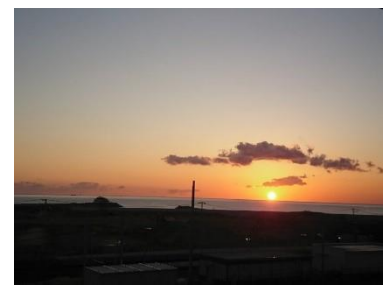
20191116 福島 114 便
 (廃炉資料館)



20191116 福島 114 便
 (廃炉資料館)



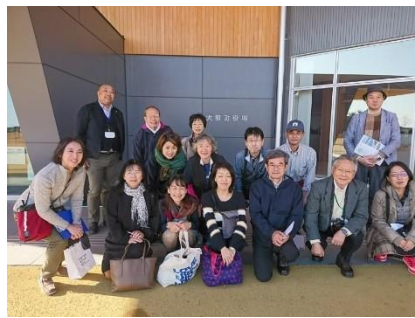
20191116 福島 114 便
 (ふたばいんふお)



20191116 福島 114 便
 (富岡ホテル)



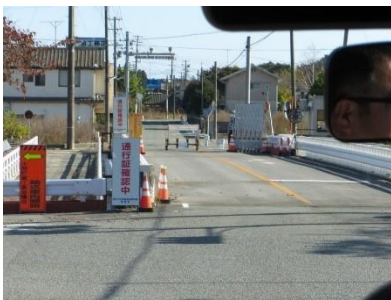
20191117 福島 114 便
 (富岡ホテル前)



20191117 福島 114 便
 (大熊町役場前)



20191117 福島 114 便
 (6号線)



20191117 福島 114 便
 (大熊町内)



20191117 福島 114 便
 (大熊町庁舎)



20191117 福島 114 便
 (木戸川漁協)



20191117 福島 114 便
 (鮭やな場)



20191117 福島 114 便
 (鈴木さんご説明)



20191117 福島 114 便
 (ご説明)



20191117 福島 114 便
 (やな場)



20191117 福島 114 便
 (鮭の卵)



20191117 福島 114 便
 (昼食)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫



20191117 福島 114 便
 (参加者作成・回った先)



20191129 福島 117 便
 (台風 19 号復旧支援 3 号)
 いわき市



20191129 福島 117 便
 (台風 19 号復旧支援 3 号)
 いわき市



20191129 福島 117 便
 (台風 19 号復旧支援 3 号)
 いわき市



20191214 福島 115 便
 (川内村 11 号)
 地元のお母さん



20191214 福島 115 便 (川内村 11 号)
 高田島ヴィンヤード



20191214 福島 115 便
 (川内村 11 号)



20200118 第 9 回講演会
 (吉川彰浩さん)



20200118 第 9 回講演会
 (吉川彰浩さん)



20200118 第 9 回講演会
 (吉川彰浩さん、懇親会)



20200129
 美味しいふくしま@銀座



20200129
 美味しいふくしま@銀座

4.2.11 2020年度の活動様子

 <p>20200517 葛尾村田植え (活動見合わせ時の様子)</p>	 <p>20200517 葛尾村田植え (活動見合わせ時の様子)</p>	 <p>20200517 高田島 (活動見合わせ後の様子)</p>
 <p>20200530 第10回勉強会#1</p>	 <p>20200530 第10回勉強会#1</p>	 <p>20200530 第10回勉強会#1</p>
 <p>20200620 第9回総会</p>	 <p>20200620 第9回総会</p>	 <p>20200809 ふたすけコット交流会</p>
 <p>20200809 ふたすけコット交流会</p>	 <p>20200905 第10回勉強会#2</p>	 <p>20200924 小高駅発「Way-Way」 (オンライン参加)</p>



20201121 福島 131 便
 (現地訪問 33)



20201121 福島 131 便
 (現地訪問 33)



20201121 福島 131 便
 (現地訪問 33)



20201121 福島 131 便
 (現地訪問 33)



20201121 福島 131 便
 (現地訪問 33)



20201121 福島 131 便
 (現地訪問 33)



20201121 福島 131 便
 (現地訪問 33)



20201121 福島 131 便
 (現地訪問 33)



20201121 福島 131 便
 (現地訪問 33)

内容 「コロナ禍における災害ボランティアセンター」
 「地域の受援力を高めるために」
定員 40名 (事前申込制・参加費無料)
 ※感染症の状況により内容や定員、実施方法が変更になる可能性もあります。
 ※申込み方法・地図は、裏面に記載しております。本講義は、「災害ボランティアコーディネーター養成講座」の今後の部を公開講座として開催するものです。
講師 高山弘毅 (たかやまひろき) 氏
 出身：1976年 群馬県前橋市生まれ
 現職：相模原市社会福祉協議会学童保育所所長
 Nukino 代表
 主な受賞活動賞：
 「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」の推進により、全国各地の災害ボランティアセンターの運営を支援。2014年には、災害により地元が被災し「相模原市大塚たすけあいセンター」を運営するなど、風物人情の移転を問わず多数の支援を持つ災害ボランティア活動支援の第一人者。現在は、個人事務所「Nukino」を立ち上げ、「人がより良く暮らすこと」の支援に携わり続けている。

20210124 相模原市社協
 公開講座 (オンライン参加)

かながわ「福島応援」プロジェクト
 2020年度 第11回講演会
「地域とともにある酒造り」
 ～鈴木酒造店の酒造りにかける思い～
 お話：鈴木酒造店 鈴木大介さん
 ●日時：2021年2月6日(土) 15:00～17:00
 ●場所：オンライン (福島県浪江町、山形県長井市、神奈川県、関東)
 1 ©2020 kfop. 2021/02/04

20210206
 第11回講演会



20210206
 第11回講演会



20210206
第11回講演会



20210206
第11回講演会



20210206
第11回講演会



20210206
第11回講演会



20210206
第11回講演会



20210206
第11回講演会



20210206
第11回講演会



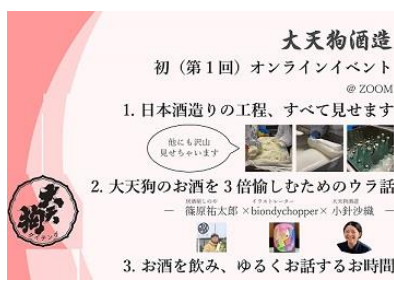
20210214 葛尾村祝言式
(オンライン参加)



20210214 葛尾村祝言式
(オンライン参加)



20210227 fukunomo
(オンライン参加)



20210306 大天狗酒造
(オンライン参加)



20210306 利酒コンサート
(オンライン参加)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2020年度(R02)活動実績・2021年度(R03)活動計画≫

4.3 2021年度の活動日程 (計画、一部抜粋、状況により変更あり)

2021年度-kfop事業計画日程

4月							5月							6月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4						1	2	31	1	2	3	4	5	6
					156														158	
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
福島135浪江+富岡(整地)↑↑							福島138富岡+草取↑↑													
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
												157						総会10↑		
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
							福島136葛尾(田植)+川内↑↑													
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
							福島137訪問#1(維持)↑↑													
7月 [オリンピック7/23-8/8]							8月 [パラリンピック8/24-9/5]							9月 [パラリンピック8/24-9/5]						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4							1	30	31	1	2	3	4	5
					159														161	←
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
福島139双葉+富岡(支柱)↑↑												160	←	福島141大熊+富岡(草取)↑↑						
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
					勉強会12↑															
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
				→																
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							→ 福島140訪問#2(視察)													
10月							11月							12月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
福島142葛尾(稲刈)+富岡↑↑												163						164		
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
					162								えびす	福島147小高+南相馬↑↑						
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
							福島145視察研修08号↑↑													
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
福島143楢葉+ふ化場↑↑							福島146訪問#4(維持)↑日市													
25	26	27	28	29	30	31	29	30						27	28	29	30	31		
福島144訪問#3(講演)																				
1月							2月							3月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	31	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
												166							167	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
					165	だるま市								福島149相馬+新地↑↑						
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
					講演会13↑															
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
							福島148訪問#5(維持)													
24	25	26	27	28	29	30	28							28	29	30	31			

<凡例> ※ボランティアは当面個人参加、行ける人が行く。視察便も現地集合・現地解散・オンラインなど。

000: 定例会(①オンラインのみ:10:00-12:00、会場+オンライン:14:00~17:00)

総会・勉強会・講演会

000: 広域便(現地活動、または現地に行かない時は神奈川でWS)

福島訪問(募集なし)

000: 宿泊便

000: バス便

000: 視察便

※活動内容・日程は予告なく変更あり



保護ページ